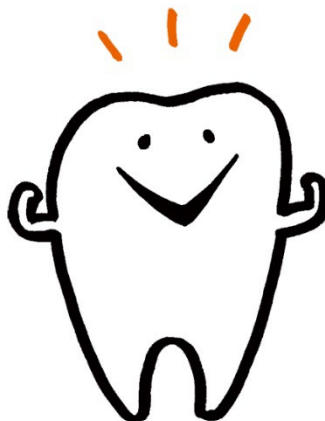


文部科学省

「専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育推進事業」

『訪問歯科衛生士育成のためのリカレント教育モデル構築事業』

歯科衛生士のための
訪問歯科学習テキスト
確認テスト



株式会社穴吹カレッジサービス

この教材は、文部科学省の「専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育推進事業」の委託事業として、株式会社穴吹カレッジサービスが作成した、『訪問歯科衛生士育成のためのリカレント教育モデル構築事業』のための教材です。

もくじ

問題

<1章 訪問歯科の制度 基礎知識確認テスト>	1
<1章 訪問歯科の制度 発展知識確認テスト>	10
<2章 多職種連携 基礎知識確認テスト>	15
<2章 多職種連携 発展知識確認テスト>	17
<3章 高齢者の特徴と歯科 基礎知識確認テスト>	19
<3章 高齢者の特徴と歯科 発展知識確認テスト>	25
<4章 認知症の特徴と歯科 基礎知識確認テスト>	32
<4章 認知症の特徴と歯科 発展知識確認テスト>	37
<5章 障害者の特徴と歯科 基礎知識確認テスト>	42
<5章 障害者の特徴と歯科 発展知識確認テスト>	49
<6章 薬剤と歯科 基礎知識確認テスト>	58

解答解説

<1章 訪問歯科の制度 基礎知識確認テスト解答解説>	63
<1章 訪問歯科の制度 発展知識確認テスト解答解説>	66
<2章 多職種連携 基礎知識確認テスト解答解説>	70
<2章 多職種連携 発展知識確認テスト解答解説>	70
<3章 高齢者の特徴と歯科 基礎知識確認テスト解答解説>	71
<3章 高齢者の特徴と歯科 発展知識確認テスト解答解説>	73
<4章 認知症の特徴と歯科 基礎知識確認テスト解答解説>	75
<4章 認知症の特徴と歯科 基礎知識確認テスト解答解説>	76
<5章 障害者の特徴と歯科 基礎知識確認テスト解答解説>	77
<5章 障害者の特徴と歯科 基礎知識確認テスト解答解説>	78
<6章 薬剤と歯科 基礎知識確認テスト解答解説>	79

<1章 訪問歯科の制度 基礎知識確認テスト>

1 次の全国の歯科診療所に関する記述のうち、適切でないものを選びなさい。

- 1 令和3年度の全国の歯科診療所は67,899施設であった。
- 2 全国の歯科診療所数の約33.7%が東京都にある。
- 3 令和3年度の全国の歯科診療所は25施設ほど増加した。
- 4 令和3年度の一般(医科)診療所を含めた全診療所に占める全国歯科診療所数の割合は、37.6%だった。

2 次の「虫歯のない幼児(3歳児)の割合」の表中の(イ)、(ロ)に入る都道府県として正しいものはどれか。

虫歯のない幼児(3歳児)の割合 ワースト5(R2)

(イ)	79.9%
沖縄県	80.4%
秋田県	81.2%
熊本県	81.6%
長崎県	82.0%

虫歯のない幼児(3歳児)の割合 ベスト5(R2)

(ロ)	93.0%
愛知県	92.3%
新潟県	91.7%
鳥取県	91.3%
岐阜県	91.3%

厚生労働省 歯科保健医療に関するオープンデータ(令和4年度)より作成

- | | (イ) | (ロ) |
|---|-----|-----|
| 1 | 青森県 | 東京都 |
| 2 | 山形県 | 徳島県 |
| 3 | 青森県 | 兵庫県 |
| 4 | 山形県 | 福岡県 |

3 次の全国の在宅サービス提供歯科診療所に関する記述のうち、適切でないものを選びなさい。

- 1 令和3年度の全国の在宅サービス提供歯科診療所割合の平均は34.9%だった。
- 2 令和3年度の全国の在宅サービス提供歯科診療所割合が最も高かったのは長崎県で57.3%だった。
- 3 令和3年度の全国の在宅サービス提供歯科診療所割合は、人口が多い東京都、神奈川県、大阪府は低く、人口が少ない山形県、島根県、岐阜県は高い。
- 4 令和3年度の全国の在宅サービス提供歯科診療所割合は、関東、関西地方は高く、中四国、九州、北陸地方は低い傾向にある。

4 2022年の日本の人口として正しいものはどれか。

- 1 1億120万人
- 2 1億1214万人
- 3 1億2495人
- 4 1億3020万人

5 2022年の日本の65歳以上の高齢者の人口比として正しいのはどれか。

- 1 26.0%
- 2 29.0%
- 3 34.0%
- 4 37.0%

6 令和2年度の国民医療費の推移に関する記述のうち誤っているものはどれか。

- 1 国民医療費は約43兆円だった。
- 2 人口1人当たりの国民医療費は34万600円だった。
- 3 歯科診療医療費は約3兆円だった。
- 4 医療費の前年伸び率は、2.4%増だった。

7 住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、国が推進している体制はどれか。

- 1 地域包括ケアシステム
- 2 生活支援・介護予防体制
- 3 在宅看護・介護支援体制
- 4 民間介護サービス

8 日本老年歯科医学会「在宅歯科医療の基本的考え方 2022」の訪問診療の定義について、次の(ア)～(ウ)に入る語句の組合せとして正しいものはどれか。

訪問診療とは、長期的な医療計画のもとに実施され、(ア)とは異なる診療です。一方、(イ)は、依頼時のみ実施される緊急対応で(ア)の延長線上に位置します。

在宅歯科医療は、地域の「(ウ)歯科」が担当することが望ましいとしています。

	ア	イ	ウ
1	外来医療	往診	かかりつけ
2	入院医療	外来医療	専門
3	往診	入院医療	専門
4	入院医療	往診	かかりつけ

9 歯科訪問で保険診療ができる要件として適切でないものはどれか。

- 1 診療所からちょうど 16km の場所に、訪問した
- 2 歯科のない病院から訪問依頼があり、訪問した。
- 3 デイサービス施設から依頼があり、訪問した。
- 4 歯科治療設備のある専用車で訪問したが、居宅内で診療した。

10 歯科訪問時の対応として適切でないものはどれか。

- 1 正確な診断を下すため、オンライン診療は極力避ける。
- 2 訪問時は、最低限の生体モニターや迅速な検査ツールが必要になる。
- 3 処置時の飛沫などの曝露に注意し、リスクに応じた感染予防対策を実施する。
- 4 投薬をする際、できる限り処方箋を発行する。

11 健康保険や後期高齢者医療保険以外の訪問歯科に関わる福祉・保険の根拠法と対象者の組合せとして正しいものはどれか。※令和 5 年(2023 年)時点

- | | |
|------------|------------|
| 1 介護保険法 | 75 歳以上の高齢者 |
| 2 障害者総合支援法 | 65 歳未満の障害者 |
| 3 児童福祉法 | 16 歳未満の障害児 |
| 4 生活保護法 | 生活保護手帳交付者 |

12 次の歯科衛生士が訪問して行う診療補助や処置・指導に関する記述として正しいものはどれか。※令和 5 年(2023 年)時点

「歯科医師の指示に基づき、患者の口腔内の清掃、有床義歯の清掃指導又は口腔機能の回復若しくは維持に関する実地指導」

- 1 在宅等療養患者専門的口腔衛生処置
- 2 訪問歯科衛生指導
- 3 歯科衛生士等居宅療養管理指導
- 4 歯科衛生士等介護予防居宅療養管理指導

13 歯科衛生士が訪問して行う診療補助や処置・指導に関する記述の()に入る語句の正しい組合せはどれか。※令和 5 年(2023 年)時点

歯科衛生士等(ア)療養管理指導は、歯科医師と歯科衛生士が共同して(イ)計画を作成し、歯科衛生士等が利用者を訪問して実地指導を行う。

- | | ア | イ |
|---|----|------|
| 1 | 在宅 | 療養管理 |
| 2 | 在宅 | 管理指導 |
| 3 | 居宅 | 管理指導 |
| 4 | 居宅 | 療養管理 |

14 次の介護保険制度に関する記述の()に入る数字の組合せとして正しいものはどれか。

介護保険制度は、日本の高齢化に対応するため(ア)年に創設されました。(イ)歳になった月から介護保険料を徴収し、介護サービスを利用した場合、費用の 1～3 割を自己負担します。

- | | ア | イ |
|---|------|----|
| 1 | 2000 | 40 |
| 2 | 1995 | 40 |
| 3 | 2000 | 45 |
| 4 | 1995 | 45 |

15 次の介護保険制度に関する記述の()に入る語句の組合せとして正しいものはどれか。

保険料を徴収し保険を支払う「(ア)」は、(イ)です。保険料を支払う「(ウ)」は 40 歳以上の者になります。

	ア	イ	ウ
1	被保険者	国	保険者
2	保険者	特別区・市町村	被保険者
3	保険者	国	被保険者
4	被保険者	特別区・市町村	保険者

16 次の介護保険制度に関する記述の()に入る語句の組合せとして正しいものはどれか。

40～65 歳未満で医療保険加入者を第(ア)号被保険者、65 歳以上の者を第(イ)号被保険者といいます。介護保険の給付を受けることができるのは、第(イ)号被保険者のうち要介護・支援認定を受けた者と第(ア)号被保険者のうち特定疾病のために介護が必要になり(ウ)から認定された者です。

	ア	イ	ウ
1	1	2	厚生労働省
2	1	2	市町村
3	2	1	厚生労働省
4	2	1	市町村

17 次の要介護度判定結果後の記述中の()内に入る、語句の組合せとして正しいものはどれか。

要介護認定を受けた後、(ア)のケアマネジャーがケアプランを作成し介護サービスを利用することができる。

要支援認定を受けた後、(イ)の保健師等が介護予防ケアプランを作成し予防サービスを受けることができる。

ただし、ケアプラン、介護予防プラン共に自分で作成することもできる。

	ア	イ
1	居宅介護支援事業者	地域包括支援センター
2	市町村福祉協議会	保健所
3	介護保険福祉施設	居宅介護支援事業者
4	地域包括支援センター	市町村福祉協議会

18 次の記述の介護保険サービスとして正しいものはどれか。

医師の指示に基づき、介護老人保健施設、病院、診療所などに通い、介護予防を目的として一定期間にわたり、心身の機能の維持回復を図り、日常生活の自立を助けるために必要なりハビリテーションを受ける。

- 1 デイサービス
- 2 デイケア
- 3 ショートステイ(療養介護)
- 4 訪問リハビリテーション

19 次の歯科衛生士が関わる医療保険診療点数に関する記述の、()内に入る語句の組合せとして正しいものはどれか。※2023 年現在

「摂食機能療法」は、摂食機能障害を有する患者に対して、(ア)計画書に基づき、医師、歯科医師もしくは医師または歯科医師の指示の下に(イ)、看護師、(ウ)、歯科衛生士、理学療法士、作業療法士が訓練指導を行った場合に算定される。

	ア	イ	ウ
1	診療	言語聴覚士	准看護師
2	リハビリ	保健師	介護福祉士
3	管理指導	介護福祉士	管理栄養士
4	リハビリ	介護福祉士	管理栄養士

20 歯科衛生士が関わる「在宅等療養患者専門的口腔衛生処置」に関する記述の、()内に入る数字として正しいものはどれか。※2023 年現在

「在宅等療養患者専門的口腔衛生処置」は、歯科医師の指示を受けた歯科衛生士が専門的口腔清掃処置を行った場合に算定でき、月()回に限る。

1	1
2	2
3	3
4	4

21 歯科衛生士が関わる介護保険の、「歯科衛生士等居宅療養管理指導」「歯科衛生士等介護予防居宅療養管理指導」に関する記述の、()内に入る語句・数字の正しい組合せはどれか。※2023 年現在

歯科医師と歯科衛生士が(ア)して(イ)計画を作成し、歯科衛生士等が利用者を訪問して実地指導を(ウ)分以上行った場合(月4回に限る)

	ア	イ	ウ
1	共同	診療	30
2	協議	管理指導	20
3	共同	管理指導	30
4	協議	診療	20

<1章 訪問歯科の制度 発展知識確認テスト>

1 次の全国の歯科診療所に関する記述のうち、適切でないものを選びなさい。

- 1 令和3年度の人口10万人あたりの歯科衛生士が最も多いのは徳島県で、180.2人だった。
- 2 令和3年度の人口10万人あたりの歯科衛生士は、中国四国や九州に多く、東北・関東は少ない傾向があった。
- 3 令和3年度の人口10万人あたりの歯科衛生士が最も少ないのは東京都で、78.4だった。
- 4 令和3年度の人口10万人あたりの歯科衛生士の全国平均は、113.0人だった。

2 次の全国の在宅サービス提供歯科診療所に関する記述のうち、適切でないものを選びなさい。

- 1 令和元年から4年間の在宅サービス提供歯科診療所増加率は、全国で1.58倍になった
- 2 令和元年から4年間の在宅サービス提供歯科診療所増加率が最も高かったのは福島県で、2.13倍になった
- 3 令和元年から4年間の在宅サービス提供歯科診療所増加率が最も低かったのは大阪府で、1.16倍だった。
- 4 東京都の令和元年から4年間の在宅サービス提供歯科診療所増加率は、1.79倍で全国平均を上回った。

3 国立社会保障・人口問題研究所が令和5年に発表した日本の将来人口推計(中位)で、1億人を下回るとしたのは何年か。

- 1 2031年
- 2 2045年
- 3 2056年
- 4 2070年

4 令和4年度の社会保障給付費(予算ベース)について、誤っているものはどれか。

- 1 総額は約 131 兆円である。
- 2 社会保障給付費のうち、約 3 割が年金、約 5 割が医療給付である。
- 3 社会保障給付費は、約6割が保険料、約4割が公費でまかなわれている。
- 4 社会保障に対する国庫負担は 30 兆円を超え、一般歳出の 54%を占める。

5 在宅医療・介護連携システムで、診療所の役割でないものはどれか。

- 1 定期的な訪問診療の実施
- 2 急変時の診療や一時受入れ
- 3 服薬管理や医療処置の実施
- 4 初期治療

6 訪問診療の対象患者として適切なものはどれか。

- 1 疾病・傷病のため通院が困難だが支援があれば通院できる患者
- 2 緊急の歯科治療が必要だが訪問の同意を得ていない患者
- 3 訪問診療を希望している、感染症関連患者
- 4 通院が可能な自宅や宿泊施設で療養中の患者

7 歯科衛生士が訪問して行う診療補助や処置・指導と、対象保険の組合せとして正しいものはどれか。※令和 5 年(2023 年)時点

- | | |
|----------------------|------|
| 1 訪問歯科衛生指導 | 介護保険 |
| 2 在宅等療養患者専門的口腔衛生処置 | 介護保険 |
| 3 歯科衛生士等居宅療養管理指導 | 介護保険 |
| 4 歯科衛生士等介護予防居宅療養管理指導 | 医療保険 |

8 次の歯科訪問の場合、医療保険の適用にならないものはどれか。※令和5年(2023年)時点

- 1 短期入所療養介護施設(ショートステイ)に訪問し、要介護1の入所者に「訪問診療」を行った。
- 2 グループホームに訪問し要介護2の入所者に「訪問診療」を行った。
- 3 特別養護老人ホームに訪問し、要介護4の入所者に「管理指導」を行った。
- 4 サービス付き高齢者向け住宅に訪問し、要支援1の入所者に「管理指導」を行った。

9 介護認定に関する記述として、誤っているものはどれか。

- 1 相談は、地域包括支援センターや市町村介護保険担当窓口で行う
- 2 要介護認定の申請は、市町村介護保険担当窓口で行う
- 3 認定調査は、保健師やケアマネジャーが訪問し心身の状態や環境調査を行う。
- 4 一次判定は、コンピュータが全国一律の基準により行われる。

10 介護認定に関する記述として、誤っているものはどれか。

- 1 要介護認定の申請は、市町村介護保険担当窓口で行う
- 2 認定調査は、市町村担当職員などが訪問し心身の状態や環境調査を行う。
- 3 一次判定は、コンピュータが全国一律の基準により行われる。
- 4 二次判定は、都道府県が介護認定審査会を設置し介護認定を行う。

11 介護サービスについて正しいものはどれか。

- 1 要支援・要介護認定を受けてない高齢者に対する一般介護予防事業は行われていない。
- 2 介護予防ケアプランは自分自身で作成することができるが、ケアプランはケアマネジャーしか作成することができない。
- 3 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)は要介護3以上でないと原則入所できない。
- 4 介護老人保健施設は、介護医療院とも言われている。

12 次の記述の介護保険サービスとして正しいものはどれか。

医師、歯科医師、薬剤師、歯科衛生士などが自宅を訪問し、療養上の管理の他、栄養状態管理や口腔衛生維持などのサービスを行う

- 1 訪問看護
- 2 訪問医療
- 3 居宅療養管理指導
- 4 訪問リハビリテーション

13 次の記述の介護保険サービスとして正しいものはどれか。

病状が慢性期にある高齢者に対してリハビリテーションを中心に、看護・介護や限定的な医療を行なう施設

- 1 介護老人福祉施設
- 2 介護医療院
- 3 グループホーム
- 4 介護老人保健施設

14 次の記述の介護保険サービスとして正しいものはどれか。

- 1 要支援認定されれば給付限度額の範囲内で、工事を伴う手すりが設置できる。
- 2 要支援認定されれば給付限度額の範囲内で、歩行補助つえのレンタルができる。
- 3 要介護2以上であれば給付限度額の範囲内で、車いすが支給される。
- 4 要介護2以上であれば給付限度額の範囲内で、特殊寝台(ベッド)が安く購入できる。

15 歯科衛生士が関わる保険診療の記述として、間違っているものはどれか。※2023 年現在

- 1 歯科衛生士が歯科医師と同行し、歯科訪問診療の補助を行った場合、医療保険の「歯科訪問診療補助加算」が加算される。
- 2 医療保険の「訪問歯科衛生指導料」は、歯科医師の指示に基づき歯科衛生士が口腔内清掃、指導等を行ったときに算定され、看護師や准看護師が行ったときは算定されない。
- 3 医療保険の「訪問歯科衛生指導料」は、患者に対して口腔内清掃、指導等を 20 分以上行ったときのみ算定される。
- 4 医療保険の「訪問歯科衛生指導料」の算定は、患者1人につき月4回までとされている。

16 次の歯科衛生士が関わる医療保険診療点数に関する記述の、()内に入る数字の組合せとして正しいものはどれか。※2023 年現在

「摂食機能療法」は、摂食機能障害を有する患者は(ア)分以上、脳卒中の発症後(イ)日以内の患者は 15 分以上(ア)分未満のときに算定される。

	ア	イ
1	20	28 日
2	20	14 日
3	30	28 日
4	30	14 日

<2章 多職種連携 基礎知識確認テスト>

1 多職種連携に関する記述として誤っているものはどれか。

- 1 「訪問看護ステーション」の看護師からは、患者や介護者に関する情報を得ることができる。
- 2 言語聴覚士(ST)は、口腔や摂食嚥下を扱い、口腔機能訓練、基礎訓練、摂食嚥下訓練、構音訓練などを行う。
- 3 生活相談員からは在宅療養患者の日常生活状況を知ることができる。
- 4 管理栄養士は、義歯や口腔機能の状態から咀嚼・嚥下が可能な食形態についての情報提供を行い、誤嚥や窒息を防ぐ安全な食事が行えるようにする。

2 多職種連携に関する記述として誤っているものはどれか。

- 1 訪問看護ステーションには理学療法士や作業療法士などのリハビリテーション職が在籍し訪問していることもある。
- 2 生活相談員は、病院などで患者や家族が抱える悩みや問題を見だし、問題解決を図るために医療機関や行政など関係機関との調整や連携を行う。
- 3 ホームヘルパーが担うホームヘルプサービスは、「生活援助」と「身体介護」の2つに分けられる。
- 4 生活支援員は、障害者福祉施設に入所又は通所している利用者が快適で自立した生活ができるように、相談・助言、就労支援、作業指導などを行う。

3 多職種連携に関する記述として誤っているものはどれか。

- 1 生活相談員は、障害者福祉施設に入所又は通所している利用者の食事・入浴・排泄などの身体介護や、調理・掃除・洗濯などの家事支援、金銭管理などの直接的な支援を行う。
- 2 患者の口腔状態はホームヘルパーによる日常的な口腔ケア・指導に大きく影響を受ける。
- 3 「訪問看護ステーション」の看護師に、口腔ケアや摂食嚥下に関する情報を提供し実施をしてもらうこともある。
- 4 歯科衛生士が介護福祉士に対して、口腔ケアの技術的助言やマネジメントを行うこともある。

4 多職種連携に関する記述として誤っているものはどれか。

- 1 作業療法士(OT)は、身体に障害のある患者、またはそれが予測される人に対して、基本動作能力(座る、立つ、歩くなど)の回復や維持、運動療法や物理療法などを行う。
- 2 生活相談員は、介護施設などで入居者や家族の抱える問題(経済面、心理面、社会面など)の相談に乗り、多職種と連携して解決を図る。
- 3 ホームヘルパーが行う生活援助は、掃除、洗濯、調理、買い物などの家事援助や薬の受け取りなど身体に直接触れない身の回りの援助である。
- 4 医療ソーシャルワーカー(MSW)は、患者や家族の社会的問題解決や調整、患者の退院援助や退院後の生活支援などを行う。

<2章 多職種連携 発展知識確認テスト>

- 1 多職種連携に関する記述として誤っているものはどれか。
 - 1 「訪問看護ステーション」のホームヘルパーに、口腔ケアや摂食嚥下に関する情報を提供し実施をしてもらうこともある。
 - 2 歯科治療後に処方を行う場合は訪問する薬剤師に処方箋を渡し薬剤師から投薬してもらうと安全である。
 - 3 作業療法士(OT)は、身体または精神に障害のある人、またはそれが予測される人に対して、その主体的な活動の獲得をはかるために、工芸・手芸などの手作業や食事や入浴などの日常生活にかかわる作業などの作業療法を行う。
 - 4 介護保険を利用する「居宅療養管理指導」は、ケアマネジャーが立てるケアプランとは関係のない独立した介護サービスだが、実施後ケアマネジャーへの情報提供は必要である。

- 2 多職種連携に関する記述として誤っているものはどれか。
 - 1 介護福祉士は、患者の自宅や施設等を訪問し、薬の管理や服薬支援を行うこともある。
 - 2 介護福祉士からは、入所者の身体や生活に関する重要な情報を得ることができる。
 - 3 福祉用具専門相談員は、専門的な知識に基づいて福祉用具の選定や使用についての支援、福祉用具の機能、安全性、衛生状態などについての点検・調整を行う。
 - 4 歯科訪問診療を実施できるのは、ケアマネジャーが立てた「週間サービス表」になにも入っていない時間になる。

3 多職種連携に関する記述として誤っているものはどれか。

- 1 薬剤師からは、嚥下障害のために経口からの服薬が困難な場合、薬剤師からの相談に乗ることもある。
- 2 理学療法士(PT)は、頸部や体幹訓練、体力アップ、運動療法、摂食訓練などを行います。
- 3 管理栄養士は、栄養管理や患者に適した食形態や調理指導などを行う。
- 4 作業療法士は主に身体介護を行い、食事介助や日常的な口腔ケアも含まれる。

4 多職種連携に関する記述として誤っているものはどれか。

- 1 理学療法士(PT)は、姿勢や上肢の訓練、食器の工夫、自助具や摂食訓練などを行う。○2
言語聴覚士(ST)は、脳卒中などによる言語障害や、摂食嚥下障害などのリハビリテーションを行う。
- 3 介護福祉士は、介護施設において、食事・排泄・入浴などの身の回りの介護や生活支援を行う。
- 4 ケアマネジャーは介護を必要とする方が介護保険サービスを受けられるように、ケアプラン(サービス計画書)の作成やサービス事業者との調整を行う。

<3章 高齢者の特徴と歯科 基礎知識確認テスト>

1 老化による身体機能の低下についての記述のうち、誤っているものはどれか。

- 1 平衡(バランス性)は、70 歳で 20 歳と比べ 80%低下する。
- 2 脚力は、70 歳で 20 歳と比べ 50%低下する。
- 3 握力は、70 歳で 20 歳と比べ 70%低下する。
- 4 歩行速度は、70 歳で 20 歳と比べ 50%低下する。

2 加齢による睡眠の変化として誤っているものはどれか。

- 1 睡眠時間の増加
- 2 深い眠りが減り、浅い眠りが増える
- 3 眠りにつく時間が早くなる
- 4 夜何度も目が覚める

3 よい睡眠のために気をつけることとして誤っているものはどれか。

- 1 寝付けなければ、一度離床する
- 2 定期的に運動する(寝る 1 時間前まで)
- 3 一日(特に午前中)に日光を浴びる時間を増やす
- 4 夕方以降は水分摂取を制限する

4 加齢による摂食・嚥下の変化として誤っているものはどれか。

- 1 姿勢が変化(円背・脊椎変形・頸椎変形など)して食べにくくなる。
- 2 だ液が減少し、口腔内が乾燥して不衛生になる。
- 3 咽頭の位置が上がり、誤嚥の危険性が高くなる。
- 4 咳が出にくくなり、むせることができなくなる。

5 高齢者の脱水症の徴候として誤っているものはどれか。

- 1 なんとなく元気がなく、眠りがち
- 2 微熱が1日以上続く
- 3 手足が冷たく、わきの下が乾いている
- 4 脈が遅く、血圧が低下

6 口腔組織の老化現象のうち歯と咬合に関する記述として誤っているものはどれか。

- 1 多くの高齢者はう蝕や歯周疾患で歯数が減少する。
- 2 加齢に応じた歯髓腔全体にみられる象牙質の添加を第二象牙質という。
- 3 高齢者では歯根部歯髓側の象牙細管内に二次的石灰化が起こるため褐色化する。
- 4 加齢とともに歯根膜側にセメント質が添加し厚くなり、根端部や根分岐部に肥厚がみられる。

7 高齢者の精神・心理的变化に関する記述として誤っているものはどれか。

- 1 わずかな体調の変化などを必要以上に気にしてしまう傾向にある。
- 2 老化による影響を受けやすい記憶は手続き記憶で、逆に最も老化の影響は受けにくいのはエピソード記憶である。
- 3 老人性うつは、認知症と間違えられやすく、状態が徐々に悪化してしまうことがある。
- 4 せん妄は、意識混濁に加え、錯覚や幻覚・妄想などがみられる状態で、原因として入院、薬、発熱、脱水、感染症、認知症がある。

8 脳血管疾患に関する記述として正しいものはどれか。

- 1 脳血管疾患による、死亡数の約 60%は脳梗塞、脳出血 25%、くも膜下出血 10%である。
- 2 脳出血は、脳動脈の狭窄、閉塞が原因で動脈が流れる領域に虚血部分ができ脳組織が壊死に陥る疾患である。
- 3 くも膜下出血は、脳の中心部の血管が破裂するためにくも膜下腔に出血が拡がる。突然の激しい頭痛が特徴的で、頭蓋内の圧が上がるために強い悪心、嘔吐を伴う。
- 4 脳梗塞は、脳実質の中で出血が起こり、脳内にできた血腫の圧迫でさまざまな程度の頭痛、意識障害等が発症する。

9 次の脳血管疾患に関する記述内の()に入る語句の組合せとして正しいものはどれか。

脳の深部の(ア)血管に梗塞が起き障害の範囲が(イ)、運動麻痺やしびれなどの感覚障害が起こるが、自覚症状がない場合もあるのは(ウ)である。脳の複数箇所に発生した場合もあり、進行が遅い。

- | | ア | イ | ウ |
|---|----|----|------------|
| 1 | 細い | 狭い | ラクナ梗塞 |
| 2 | 細い | 広い | アテローム血栓性梗塞 |
| 3 | 太い | 狭い | 心原性脳梗塞 |
| 4 | 太い | 広い | ビンスワンガー病 |

10 次の脳血管疾患に関する記述内の()に入る語句の組合せとして正しいものはどれか。

心原性脳梗塞は、(ア)などの心疾患により不整脈が起こり心臓内の血流がよどむことで血栓ができる。これが脳に運ばれ脳動脈を詰まらせる。梗塞巣の範囲は(イ)、後遺症が残ることが(ウ)。

	ア	イ	ウ
1	心室細動	広く	少ない
2	心室細動	狭く	多い
3	心房細動	広く	多い
4	心房細動	狭く	少ない

11 次の、脳出血の出血部位と主な症状を表した表中の()に入る語句の組合せとして正しいものはどれか。

出血部位	主な症状(出血頻度)
(ア)出血	片麻痺と感覚麻痺、出血側を向く共同偏視、失語。(約 40%)
(イ)出血	感覚障害と軽度の片麻痺、下内方を向く共同偏視(約 30%)
皮質下出血	出血部位により異なる(約 15%)
(ウ)出血	頭痛・嘔吐・めまい、起立や歩行困難。上下肢や体幹失調(約 8%)
橋出血	昏睡状態、四肢麻痺、呼吸障害、著しい縮瞳や眼球正中固定(約 5%)

	ア	イ	ウ
1	視床	小脳	被殻
2	視床	被殻	小脳
3	小脳	被殻	視床
4	被殻	視床	小脳

12 次の、心疾患に関する記述の()に入る語句の組合せとして正しいものはどれか。

心臓の冠動脈が、糖尿病や高血圧、脂質異常症、肥満などによって(ア)を起こし、狭窄した状態を(イ)、閉塞した状態を(ウ)という。

(イ)は、労作時に胸の圧迫感や痛みが3～5分継続し安静にすると治るが、(ウ)は、安静にしても約20分以上激しい胸痛、冷汗が続き、心筋の壊死が進行するためすぐに救急車を呼ぶ必要がある。(ウ)は前兆がなく突然起こることもあるため注意が必要である。

	ア	イ	ウ
1	動脈硬化	心筋梗塞	狭心症
2	動脈硬化	狭心症	心筋梗塞
3	動脈解離	心筋梗塞	狭心症
4	動脈解離	狭心症	心筋梗塞

13 次の、肺炎に関する記述として正しいものはどれか。

- 肺炎は、肺の感染症で気道や気管支に炎症が生じた状態で、酸素を取り込むことができなくなり、脳や肝臓、心臓、腎臓に大きなダメージを与える。
- 高齢者の肺炎は、発熱や咳、たんなどの症状が現れやすいので初期段階で発見しやすいが、免疫力が低下していると症状が急激に進行し命にかかわることもある。
- 誤嚥性肺炎は、口腔内の食物や唾液などが気管に流入する誤嚥によって引き起こされる肺炎である。
- 要介護高齢者の場合、嚥下機能低下を原因とする発症例が特に多く、口腔衛生状態の影響は比較的少ないとされている。

15 次の生活習慣病に関する記述として誤っているものはどれか。

- 1 高血圧症の診断は、2回測定値の平均収縮期血圧が 140mmHg 以上または平均拡張期血圧が 90mmHg 以上とされている。
- 2 降圧薬として、 β 遮断薬を服用している場合、歯肉増殖の副作用がみられることがある。
- 3 糖尿病は、血糖を調節するインスリンが不足したり作用不全が起こって、慢性的に高血糖状態が持続する病気であり、合併症の一つとして歯周病がある。
- 4 歯周病が産生する毒素が、インスリンの血糖値低下作用を抑えてしまうことが明らかになり、歯周病の治療が血糖値の改善に期待できるとされている。

16 高齢者の口腔に関する記述として誤っているものはどれか。

- 1 高齢者の根面う蝕のリスク要因として、プラークの貯留、歯肉退縮による根面露出、唾液の減少が挙げられる。
- 2 人工弁置換患者や弁膜症患者など感染性心内膜炎のハイリスク患者にとって、歯周病の管理は菌血症を防ぐために重要である。
- 3 高齢者では胃食道逆流症や唾液の減少に伴う口腔内pHの上昇も酸蝕の要因となりうる。
- 4 口腔カンジダ症は細菌感染症で、自浄性が低下した口腔、低栄養状態、外科手術後、がん化学療法などによる免疫低下が発症の背景となる。

<3章 高齢者の特徴と歯科 発展知識確認テスト>

1 加齢に伴う筋力・活力低下について正しいものはどれか。

- 1 加齢や疾患などにより筋肉量が減少することをフレイルという。
- 2 加齢とともに心身の活力が低下する要介護の前段階をサルコペニアという。
- 3 廃用による筋萎縮を二次性サルコペニアという。
- 4 サルコペニアは、体重減少、握力低下、歩行速度などが見られる。

2 高齢者の睡眠に関する次の記述の()内に入る語句の組合せとして正しいものはどれか。

人の身体リズムは 24 時間より長い 24～25 時間の周期を持っているといわれています。この身体リズムを 24 時間に調整するのが体内時計です。

体内時計の機能は、脳内にある(ア)にあります。松果体は光が少ない夜に、眠気のホルモン(イ)を合成して正しい生活リズムを作りだします。朝、約 30 分間日光を浴びると(イ)が合成されなくなるので眠気を抑えることができます。強い光はうつ病にも効果があるとされています。

高齢者は、この(イ)の合成が減少するため、睡眠が浅い・思っているほど寝られないという自覚症状が多くみられます。また、体内時計の機能が低下するので、生活リズムも狂いがちになります。

	ア	イ
1	松果体	メラトニン
2	脳下垂体	セロトニン
3	延髄	エンドルフィン
4	視床下部	ドーパミン

3 高齢者の脱水症のリスクを高める、加齢による機能変化として誤っているものはどれか。

- 1 水分(細胞内液)を多く含む筋肉が減少し、約10%細胞内液が減る。
- 2 腎臓の機能が低下し、塩分や栄養分を含んだ尿が出にくくなる。
- 3 のどの渇きを感じなくなるため、水分を取らなくなる。
- 4 夜間の頻尿や尿失禁を避けるため、水分補給をがまんする。

4 口腔組織の老化現象のうち顎骨に関する記述として誤っているものはどれか。

- 1 下顎骨は歯を喪失すると、歯槽部の吸収により下顎骨の高さが低くなる。
- 2 下顎骨内部の下顎管の壁が厚くなり、エックス線撮影写真で観察できる場合が多くなる。
- 3 上顎骨は歯を喪失すると急速に吸収され、上顎洞と口腔の距離が短くなる。
- 4 無歯顎になると歯槽頂が舌側に移動することにより歯槽頂がつくる馬蹄形は有歯顎に比べて大きくなる。

5 口腔組織の老化現象のうち口唇、咽頭、喉頭に関する記述として誤っているものはどれか。

- 1 口腔粘膜上皮が厚くなり粘膜下組織が萎縮し弾力を失うため、傷つきやすくなる。
- 2 一般的に加齢に伴い唾液腺は萎縮傾向にあり、分泌量は減少する。
- 3 表情筋の筋力が低下し、咀嚼機能が減退する。
- 4 咽頭収縮筋の筋力が衰え、嚥下時に食物が咽頭に残りやすくなる。

6 次の、抗がん剤による口腔有害事象に関する記述の()に入る語句の組合せとして正しいものはどれか。

抗がん剤が口腔粘膜の細胞に直接作用して発症する口腔粘膜炎や(ア)、抗がん剤により免疫機能が低下して(イ)やウイルス感染症などがあります。

その発症頻度は、一般的ながん化学療法で40%、リンパ腫や白血病などの大量の抗がん剤を使う造血幹細胞移植治療で(ウ)%という高い頻度で起こります。

	ア	イ	ウ
1	味覚障害	菌性感染症	80
2	ヘルペス	末梢神経障害	90
3	カンジダ	口腔乾燥	70
4	嚥下障害	味覚障害	90

7 脳血管疾患に関する記述として誤っているものはどれか。

- 1 脳血管疾患は生活習慣病のひとつとされ、高血圧、不整脈、糖尿病、喫煙、脂質異常症などが危険因子であるとされている。
- 2 脳梗塞によって脳組織が壊死した場合、壊死した部分の機能が失われる(片麻痺や発音・嚥下障害等の機能障害など)。
- 3 脳出血は、寝たきりになる原因疾患の1位である。
- 4 くも膜下出血の原因は脳動脈瘤(動脈の壁にできたこぶ状の奇形)の破裂が最も多くみられる。

8 次の脳血管疾患に関する記述内の()に入る語句の組合せとして正しいものはどれか。

(ア)は、比較的太い脳の血管で起きる(イ)が原因の梗塞で障害の範囲が(ウ)。顔面の片側や舌の麻痺でろれつが回らなくなる、同じ側の手足の麻痺などが起こる。

	ア	イ	ウ
1	ラクナ梗塞	動脈硬化	狭い
2	アテローム血栓性梗塞	動脈硬化	広い
3	心原性脳梗塞	血流障害	狭い
4	ビンスワンガー病	血流障害	広い

9 次の脳血管疾患に関する記述内の()に入る語句の組合せとして正しいものはどれか。

(ア)は、大脳白質が(イ)で障害され、範囲は(ウ)。アルツハイマー型認知症のようにゆっくり進行し、初期は前頭葉型認知症の症状が現れる。頻尿や尿失禁、嚥下障害や集中力低下と手の震えなど多岐にわたるが、加齢症状と似ているので気づきにくい。

	ア	イ	ウ
1	ラクナ梗塞	動脈硬化	狭い
2	アテローム血栓性梗塞	動脈硬化	広い
3	心原性脳梗塞	血流障害	狭い
4	ビンスワンガー病	血流障害	広い

10 次の、脳出血の出血部位と主な症状を表した表中の()に入る語句の組合せとして正しいものはどれか。

出血部位	主な症状
大脳皮質(ア)	感覚麻痺と頭痛
大脳皮質後頭葉	半盲
大脳皮質(イ)	視野障害、感覚性失語
大脳皮質(ウ)	強い運動麻痺、下肢および顔面の軽度運動麻痺

	ア	イ	ウ
1	頭頂葉	側頭葉	前頭葉
2	側頭葉	頭頂葉	前頭葉
3	側頭葉	前頭葉	頭頂葉
4	前頭葉	頭頂葉	側頭葉

11 次の、人工呼吸器関連肺炎に関する記述の()内に入る数値の組合せとして正しいものはどれか。

人工呼吸管理を行っている患者は、口腔内は唾液分泌低下による自浄作用の低下、麻酔鎮静下での嚥下運動の低下、そして点滴を中心とした水分・栄養補給のため全身抵抗力が低下した状態にある。このような条件で、口腔や咽頭に存在する無数の細菌が、気管チューブに沿って、気管から肺に侵入し人工呼吸器関連肺炎を発症する。

人工呼吸器関連肺炎は、挿管処置後(ア)時間以降に発症し、気管挿管された患者の(イ)に人工呼吸器関連肺炎が発症すると報告されており、人工呼吸器の管理下にある患者に口腔のケアは標準的なケアとして確立されている。

	ア	イ
1	12	17～23%
2	24	47～53%
3	36	47～53%
4	48	17～23%

12 パーキンソン病に関する記述として誤っているものはどれか。

- 1 パーキンソン病は、中脳の黒質のドパミン産生細胞が減少することにより、動きが遅く少なくなる、筋肉が固くなる、振戦(ふるえ)、姿勢調整障害などの障害をきたす病気である。
- 2 パーキンソン病患者は自分自身で口腔管理を行うことが困難となり、口腔内汚染による口臭や歯周病、う蝕が進行することが多いが、咀嚼・嚥下機能の低下は伴わない場合が多い。
- 3 パーキンソン病は、中高年期以降(40～80 歳)に発症し、①手足が震える、②動作が緩慢になったり、表情の変化が乏しくなったりする、③前傾姿勢になり転びやすい、④筋肉の緊張が亢進してこわばるなどが主な症状である。
- 4 パーキンソン病治療薬の副作用には不随意運動(ジスキネジア)があり、高齢者の場合、口をもぐもぐさせる、舌を突出させる、口すばめ開口などの副作用がみられる。

13 高齢者の口腔に関する記述として誤っているものはどれか。

- 1 口腔カンジダ症は、抗菌薬やステロイドを含む口腔内軟膏の連用により発症することがある。
- 2 白癬は、頬粘膜に網状の白斑、紅斑、びらんを呈する慢性炎症性角化病変である。
- 3 口腔白板症は、通常は角化しない粘膜にみられる角化異常で、摩擦しても除去できず、やや隆起を認める前がん病変である。
- 4 口腔がんは、がん全体の1～3%といわれており、舌がんが半数を占める。

14 次の、オーラルフレイルに関する記述の()内に入る語句の組合せとして正しいものはどれか。

老化による口腔機能の低下とオーラルフレイルの違いは、オーラルフレイルが(ア)、精神心理的課題と複合して生じている不自然な衰え(老化)であることである。

つまりオーラルフレイルは、意識的なアプローチによって口腔周辺の器官の老化を(イ)、口腔機能低下を(ウ)させられる余地があることを啓発している。

<オーラルフレイルのレベル>

第1レベル	ライフスタイルの変化により「口腔衛生などに対する自己関心度(口腔リテラシー)の低下」がみられる。
第2レベル	口腔機能の軽度低下(例えば滑舌低下、食べこぼしやわずかのむせなど)に伴う食習慣を取り巻く環境悪化のリスクが高まる
第3レベル	口腔機能の低下が顕在化(咬合力が低下したり舌運動の低下)し、サルコペニアやロコモティブシンドロームなど身体的フレイルも生じやすく、栄養障害へ陥る段階で、口腔機能低下症と診断がつくことが多いレベル
第4レベル	摂食嚥下機能低下や咀嚼機能不全から、要介護状態、運動・栄養障害に至るレベル

	ア	イ	ウ
1	社会的	すすめ	回復
2	経済的	ゆるやかにし	助長
3	社会的	ゆるやかにし	回復
4	経済的	すすめ	助長

15 薬剤と加齢変化に関する記述として正しいものはどれか。

- 1 加齢により消化管機能は低下し、薬物吸収も低下する。
- 2 細胞内水分が減少するため、水溶性薬物の血中濃度が上昇する。
- 3 加齢による肝機能の低下により薬物代謝が低下し、血中濃度が低下する。
- 4 一般に摂取する薬剤の数が増加し、相互作用により薬剤の効果が増強し、減弱しない。

<4章 認知症の特徴と歯科 基礎知識確認テスト>

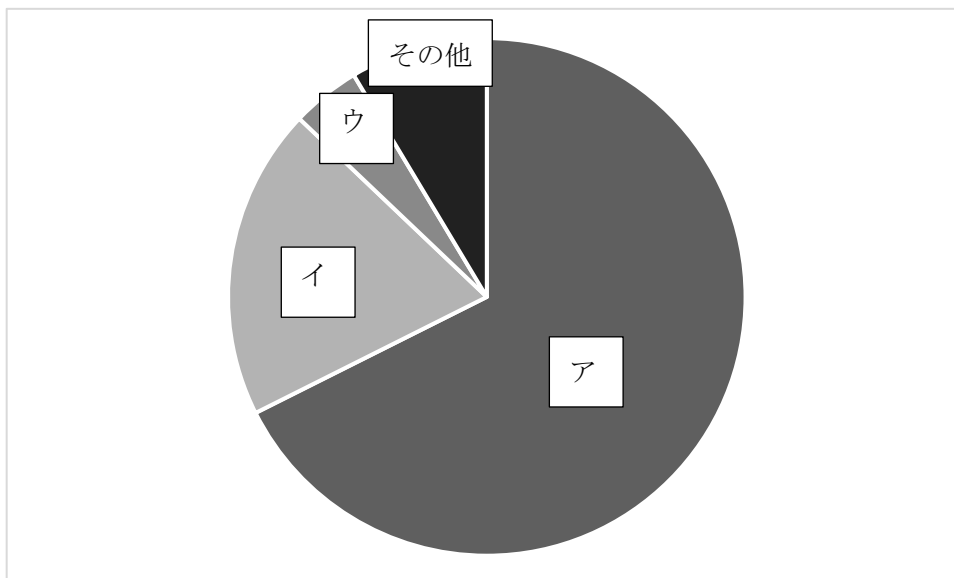
1 次の、高齢者の認知症に関する記述の()内に入る語句の組合せとして正しいものはどれか。

我が国の65歳以上の高齢者の約(ア)人に1人が認知症(2018年時点)で、認知症有病率は75～79歳で10.4%、80～84歳で22.4%、85～89歳で44.3%、90歳以上で64.2%でした。

認知症に罹患すると、これまで「できたこと」が失われ「できないこと」が増えていきますが、喜怒哀楽を感じる心、特に(イ)の心は忘れないことが多いようです。心と体のアンバランスさから多くの不自由と不安を抱える認知症を理解し、患者・家族を支えるために地域と社会による積極的な支援が必要とされています。

	ア	イ
1	3	感謝
2	3	怒り
3	7	感謝
4	7	怒り

2 次の、高齢者の認知症に関する記述の()内に入る語句の組合せとして正しいものはどれか。



認知症の原因となる疾患は多く、(ア)が 67.6%、(イ)が 19.5%、(ウ)が 4.3%、混合型が 3.3%、前頭側頭葉変性症 1.0%、アルコール性 0.4%、その他 3.9%です。(令和元年厚生労働省老健局)

	ア	イ	ウ
1	アルツハイマー型認知症	脳血管性認知症	レビー小体型認知症
2	アルツハイマー型認知症	レビー小体型認知症	脳血管性認知症
3	脳血管性認知症	アルツハイマー型認知症	レビー小体型認知症
4	脳血管性認知症	レビー小体型認知症	アルツハイマー型認知症

3 認知症に関する記述として誤っているものはどれか。

- 1 認知症の症状は極めて多彩で、主に「中核症状」と「周辺症状」に分けられる。
- 2 中核症状は、脳の障害から直接的に生じ、人によっては出ないこともある。
- 3 周辺症状は、認知症が進行する過程で二次的に生じる心理的な反応や行動の障害である。
- 4 中核症状のうち記憶障害は、海馬が萎縮することで短期記憶に障害が生じる。

4 認知症患者への食環境の調整について誤っているものはどれか。

- 1 一口量の調整が困難で詰め込みなどの行動がみられる場合には、小さなスプーンを使ったり、食事を小分けにしたりする。
- 2 食事中は声かけをしっかりと行い、幼い頃・若い頃の話しを質問するなどして、明るく楽しい環境づくりを心がける。
- 3 食事は、食器との色のコントラストが明確で味のはっきりしたものを用意し、食器の中が見やすい配置を行う。
- 4 食べ始められないときなどは、手を添えて口元に持って行ったり、目の前で介助の人が食べて見せたりする(行動提示)。

5 アルツハイマー型認知症の特徴に関する記述として誤っているものはどれか。

- 1 65歳未満で発症する若年型もあり、男女比は1:2で女性に多くみられる。
- 2 病因は不明で、側頭葉内側にある海馬を中心とした神経細胞変性により起こる。
- 3 大脳皮質の側頭葉と前頭葉に萎縮や血流低下がみられる。
- 4 比較的ゆっくり進行し、生活場面で介助を必要とすることが次第に増える。

6 アルツハイマー型認知症患者への介入として誤っているものはどれか。

- 1 繰り返し同じことを言っても否定せず話題を変える
- 2 役割を持った活動をしてもらう
- 3 介護や処置を断られても無理強いせず、断られた原因を探る。
- 4 あなたが財布を盗んだ！と言われたときは、その場で警察に連絡する。

7 脳血管性認知症についての記述として誤っているものはどれか。

- 1 脳梗塞や脳卒中になった日をきっかけに3年以内に発症し、状態はゆっくり徐々に悪化する。
- 2 常識的なしっかりした部分とそうでない部分がみられる「まだら症状」が起こる場合があり、周囲が混乱することがある。
- 3 感情が不安定になり、怒りっぽくなる。ちょっとしたことで泣いたり笑ったりする情動失禁がみられることがある。
- 4 アルツハイマー型認知症は、75 歳以上の女性に多く、脳血管性認知症は 60 歳以上の男性に多い。

8 レビー小体型認知症のパーキンソニズムの説明として誤っているものはどれか。

- 1 「振戦」：字を書く、コップを持つなど特定の動作をするときに手が震える。特定の動作以外の時は震えは起きない。
- 2 「無動」：動きが遅くなり、歩くときに足が出しにくくなる。また、話し方に抑揚がなくなり声が小さくなる。
- 3 「固縮」：筋肉が固くなってスムーズに動かせなくなる。また、顔の筋肉がこわばり無表情になる。
- 4 「姿勢反射障害」：体のバランスがとりにくくなり転びやすくなる。首が下がり前かがみの歩行になる。また、一旦歩き出すと、止まれなくなる。

9 前頭側頭型認知症の特徴についての記述として誤っているものはどれか。

- 1 40～60 歳代に発症して、人格変化や行動異常が特徴。
- 2 運動機能はあまり障害されないが、記憶に障害が生じる。
- 3 進行すると前頭葉・側頭葉の萎縮が顕著になる。
- 4 代表的な疾患に Pick 病があり、前頭側頭型認知症の約8割を占める。

10 前頭側頭型認知症患者への介入の留意点として誤っているものはどれか。

- 1 同じもののばかり食べようとしたり、うろうろ歩き回ったりしても、無理に止めず見守る。
- 2 ケガや健康を害する行動や命にかかわる行動のみ制止する。
- 3 食事や作業は刺激の多いにぎやかな場所で行い、なるべく一人きりにさせない。
- 4 地域の人や警察・店舗に事情を話し、病気であることに理解を求めることが必要。

<4章 認知症の特徴と歯科 発展知識確認テスト>

1 次の、高齢者の認知症に関する記述の()内に入る語句の組合せとして正しいものはどれか。

部位	機能	損傷を受けたときの障害
前頭葉	行動開始 動機づけ 問題解決 判断 計画 自己の客観視 情緒 注意力 話す	反応が遅くなる 自発性(やる気)の低下・無関心 人格が変わる 怒りっぽくなる 徘徊する だらしなくなる 幼稚になる・不安定になる 恐怖心や不安が強くなる 言葉を理解していても話せなくなる
側頭葉	記憶 聴覚 嗅覚 言語の理解 感情	短期・長期記憶ができなくなる 音がわからなくなる。歌えなくなる。 においがわからなくなる。幻臭。 言葉が理解できなくなる ユーモアの欠如、強迫観念、宗教傾倒
頭頂葉	感覚の統合 左右見当識 数字認知 空間認知 時間認知 視覚認知	ものを触っても何かわからない 左右の区別がつかない 計算ができない 絵が描けない・自宅の近所で道に迷う 動く物の予測ができない 絵や字が書けない
後頭葉	視覚情報処理 視覚空間統合	幻視 視覚で物が認識できない

脳に障害が生じた部位によって、発現する症状が異なります。

アルツハイマー型は、(ア)、(イ)に障害が生じ、レビー小体型は、(ウ)に障害が生じ、前頭側頭型は、前頭葉、側頭葉に障害が生じます。

脳血管型は、ダメージを受けた脳の部位により症状が異なります。

	ア	イ	ウ
1	前頭葉	頭頂葉	後頭葉
2	前頭葉	後頭葉	頭頂葉
3	側頭葉	後頭葉	頭頂葉
4	側頭葉	頭頂葉	後頭葉

2 認知症の中核症状とその内容の組合せとして誤っているものはどれか。

- 1 記憶障害 「食事を食べさせてもらっていない」と訴える
- 2 遂行機能障害 「スプーンは持てるがスープを飲むためのスプーンを準備できない」
- 3 失行 「スプーンが何をするものかがわからない」
- 4 運動性失語 「ものの名前がでてこないため、話したり書いたりできない」

3 認知症の中核症状とその内容の組合せとして誤っているものはどれか。

- 1 見当識障害 「食事を食べさせてもらっていない」と訴える
- 2 理解判断力障害 「2つ以上のことを同時並行にできず、気が散って食事ができない」
- 3 失認 「スプーンが何をするものかがわからない」
- 4 感覚性失語 「聞いたり見たりした言葉の意味がわからない(しかし、流ちょうに話す)」

4 認知症の周辺症状(心理症状)とその内容の組合せとして誤っているものはどれか。

- 1 焦燥 いらいらして落ち着かない
- 2 無気力無関心 気持ちが落ち込んでやる気がない
- 3 幻視 実際にはないものが見える
- 4 物盗られ妄想 財布や着物が盗まれたという

5 認知症の周辺症状(行動症状)とその内容の組合せとして誤っているものはどれか。

- | | |
|--------|------------------|
| 1 徘徊 | 自宅近くで道に迷う。 |
| 2 異食 | 食べ物以外のものを口に入れる |
| 3 帰宅欲求 | 家に帰ると言って出て行こうとする |
| 4 収集癖 | 目の前のものは何でも食べてしまう |

6 アルツハイマー型認知症の特徴に関する記述として誤っているものはどれか。

- 1 初期段階では、松果体を中心として側頭葉の萎縮が起こり、記憶障害が現れる。
- 2 中期になると、側頭葉に加え頭頂葉の萎縮が起こる。
- 3 頭頂葉の萎縮により、徘徊や失認、失行が起こり、日常生活介護が必要になる。
- 4 後期になると、前頭葉、後頭葉の萎縮が起こり、家族が誰かわからなくなり意思の疎通が困難になる。

7 次の、アルツハイマー型認知症患者に関する記述の()に入る語句の組合せとして正しいものはどれか。

アルツハイマー型認知症は、健康な人よりも感情をつかさどる「(ア)」の反応性が高いので感情が(イ)になります。また、喜怒哀楽、特に、怒られた記憶は残るので介護者に対して不快な気持ちを持ちます。

- | | ア | イ |
|---|-----|----|
| 1 | 扁桃体 | 鈍感 |
| 2 | 扁桃体 | 敏感 |
| 3 | 海馬 | 鈍感 |
| 4 | 海馬 | 敏感 |

8 脳血管性認知症患者への介入についての記述として誤っているものはどれか。

- 1 嚥下障害、排尿障害などの身体合併症が起こることが多い。
- 2 できないことを責めず、できることをほめる。
- 3 感情を表現しにくくなるので、距離を縮め感情の変化に気づけるように努める。
- 4 リハビリテーションは過度な期待を避け、気長に行う。

9 レビー小体型認知症の特徴として正しいものはどれか。

- 1 初期では、そこに存在しないものがはっきり見える妄想が繰り返される。人物や小動物が家の中に入ってくると表現されることが多い。
- 2 深い眠りのとき夢遊状態になり、大声を出す、暴れる、深夜に出勤の支度をするなど異常行動（レム睡眠障害）がみられる。
- 3 中期になると、一日中幻視を頻繁に見るようになり、幻視の自覚が失われ、幻視から妄想に変化し、突然動作が停止する無動状態になる。
- 4 後期では、パーキンソニズムが強くなり、転倒や転落の危険性が高まるほか、嚥下障害が強くなり誤嚥性肺炎を引き起こしやすくなる。

10 レビー小体型認知症患者への介入についての記述として誤っているものはどれか。

- 1 転倒しやすいので、いすから立ち上がる時や歩行の向きを変える時は特に注意が必要。
- 2 起立性低血圧や食事性低血圧がみられるため、起立時や食事中や食後の様子の観察が必要。
- 3 レム睡眠障害があるときは、ベッドに柵を設けたり、居室に鍵をかけたりするなどし、転倒・転落、徘徊のリスクを減らす。
- 4 幻視があるときは、否定せずに「ご飯の中の虫をとってあげる」などと本人を落ち着かせる。

11 前頭側頭型認知症の人格障害(パーソナリティや行動障害)の特徴についての記述として誤っているものはどれか。

- 1 決まった時間に決まった行動を行ったり、同じ行動をし続けたりする「常同行動」がみられる。
- 2 万引き・痴漢・放尿・暴力行為など本能のままに行動する「脱抑制」がみられる。
- 3 周りが一切見えなくなるほどの集中力を長時間保ち、ひとつの行為を続ける「異常な注意・集中力」がみられる。
- 4 自分が病気である自覚がない「病識欠如」がみられる。

<5章 障害者の特徴と歯科 基礎知識確認テスト>

1 次の、知的能力障害に関する記述の()に入る語句の組合せとして正しいものはどれか。

知的能力障害(知的発達症)は、「(ア)に発症し、概念的、社会的、および実用的な領域における知的機能と適応機能両面の欠陥を含む障害である」と定義されています。

知的能力障害は単一の疾患や症候群ではなく、さまざまな原因によって生じます。その発生原因(染色体異常、代謝・変性疾患、脳形成異常症、感染症や中毒など)が推定できる(イ)と、原因が推定できず、多因子遺伝が推測される(ウ)に大別されます。一般的に(ウ)より(イ)のほうが障害の程度が重度で、てんかんを合併するが多くあります。知的能力障害の発生頻度は人口の約1%で、その男女比は約 1.5:1 です。

	ア	イ	ウ
1	乳幼児期	病理型	生理型
2	発達期	病理型	生理型
3	乳幼児期	生理型	病理型
4	発達期	生理型	病理型

2 次の、ダウン症患者の口腔と歯の特徴と介入する際留意点として誤っているものはどれか。

- 1 先天性過剰歯が多く、歯は全体的に大きく、歯根が長いのが特徴。
- 2 前歯部の叢生や反対咬合が多く見られ 90%以上が歯周病に罹患する。
- 3 温和で明るい性格ですが、頑固な面もあるため機嫌を損ねないように対応する。
- 4 感染性心内膜炎の予防のため、抗菌薬による予防が必要。

3 次の、「自閉スペクトラム症」に関する記述の()に入る数値や語句の組合せとして正しいものはどれか。

医学的診断名は「自閉スペクトラム症(ASD)」ですが、発達障害者支援法で「自閉症」として位置づけられています。

自閉スペクトラム症は、(ア)健診で発語の遅れ、視線が合わない、ごっこ遊びをしない、指さしをしないなどの症状がみられ、早期診断・早期対応がされています。自閉スペクトラム症の頻度は約(イ)%で、男女比は(ウ):1で男性に多くみられます。

自閉スペクトラム症の特徴として、際立って得意なことと苦手なことがあり、問題行動が生じることがあります。嫌な思いを感じたときに奇声、パニック、自傷行為が起こることもあります。

	ア	イ	ウ
1	3ヶ月	0.1	2
2	8ヶ月	0.5	3
3	1歳半	1	4
4	3歳	2	5

4 自閉スペクトラム症患者への介入として誤っているものはどれか。

- 1 患者には触覚過敏や聴覚過敏があるので、可能な限り嫌いな感覚を与えないように配慮する。
- 2 歯科処置を行う場合、場所や時間や順番などに変化を与え、適度な刺激を与える。
- 3 歯科処置を行う場合、患者が理解しやすいような視覚支援による説明を行う。
- 4 指導を行う際は、簡単な課題から徐々に新しい課題に徐々にランクアップする。

5 脳性麻痺に関する記述の()内に入る語句・数値の組合せとして正しいものはどれか。

脳性麻痺(Cerebral Palsy:CP)とは、受胎から生後(ア)週間以内に生じた脳病変による脳への酸素供給不足などによる運動や姿勢の異常です。

脳性麻痺の発生率は、出生人口(イ)人に対して1～2人とされており、脳性麻痺の人の約(ウ)%には知的障害がみられ、また、てんかん(約40%)や言語障害(約70%)、摂食嚥下障害を合併することがあります。

	ア	イ	ウ
1	4	1000	50
2	4	100	10
3	12	1000	10
4	12	100	50

6 脳性麻痺の麻痺部位の分類に関する表の()内に入る語句の組合せとして正しいものはどれか。

(麻痺部位による分類)

四肢麻痺	四肢ともに同程度の麻痺を伴います。
(ア)麻痺	両下肢の麻痺が強く、上肢の麻痺が軽度です。
(イ)麻痺	両下肢に麻痺がみられ、上肢には麻痺がありません。
片麻痺	左右一側のみの麻痺があります。
(ウ)麻痺	四肢のいずれか1カ所のみに麻痺があります。

	ア	イ	ウ
1	偏	下肢	独
2	両	対	独
3	偏	下肢	単
4	両	対	単

7 脳性麻痺患者の歯科衛生士の介入に関する記述の()内に入る語句の組合せとして正しいものはどれか。

処置や清掃時に予期せぬ動きや接触に驚くと、急に身体や顎が動く「(ア)反射」、口腔内に接触するものと、強い噛み込みが起こる「(イ)反射」が起こることがあり、ミラーが破折したり、粘膜損傷を起こしたりする場合があります。

そのため、器具や歯ブラシなどを口腔内に当てる前に必ず(ウ)をすることが重要です。

	ア	イ	ウ
1	驚愕	咬	声かけ
2	腱	バルサルバ	休憩
3	驚愕	バルサルバ	声かけ
4	腱	咬	休憩

8 脊髄損傷患者への歯科衛生士の介入に関する記述として誤っているものはどれか。

- 1 治療前に排便排尿をお願いし、自律神経過反射の予防を行う。
- 2 診療時の体位変換を迅速に複数回行い、血圧低下やけいれん発作を予防する。
- 3 セルフケアが難しい部分に、介護者のケアが行われるよう指導する。
- 4 歯ブラシの柄を持ちやすくしたり、曲げたりすることで、歯磨きが可能になることもあるため、残存能力の活用を心がける。

9 関節リウマチに関する記述の()内に入る語句の組合せとして正しいものはどれか。

関節リウマチは、関節滑膜の(ア)慢性炎症が多発性に起こり、腫脹、疼痛を伴いながら破壊性関節炎に進行する疾患です。関節炎が進行すると軟骨・骨の破壊や変形を生じ、関節機能の低下、日常生活動作の低下を来します。

自己免疫疾患であるため、関節炎以外に呼吸器病変や血管炎などを伴うこともある全身性疾患です。有病率は約 0.5～1%で、中年(イ)女性に好発し、(ウ)40～50 代が発症年齢のピークです。

	ア	イ	ウ
1	急性	女性	60～70
2	慢性	男性	60～70
3	急性	男性	40～50
4	慢性	女性	40～50

10 脳血管障害患者の口腔の特徴や歯科衛生士の介入に関する記述として誤っているものはどれか。

- 1 意識障害のある場合、口腔乾燥症のために口蓋に剥離上皮膜や乾燥痰を付着することがある。
- 2 嚥下障害を伴うことが多く、対麻痺では、口腔の片側に感覚と運動の麻痺があり、食渣の滞留、舌や口唇の運動障害、流涎などがみられる。
- 3 脳血管障害のある人とケア担当者に歯磨き介助の必要性、具体的な介助磨き法や義歯の管理法などを指導するとともに専門的口腔ケアを行う。
- 4 摂食嚥下障害のある人には、誤嚥の生じにくい体位や唾液の誤嚥防止のために適宜吸引すること、また、清潔と粘膜の保湿に努めることを指導する。

11 筋萎縮性側索硬化症(ALS)に関する記述の()内に入る語句の組合せとして正しいものはどれか。

筋萎縮性側索硬化症(ALS)は、脳から(ア)まで信号を伝える上位運動ニューロンと、(ア)から筋肉に信号を送る下位運動ニューロンが、進行性に変性消失していく原因不明の疾患です。進行は速く、人工呼吸器を用いなければ、通常は(イ)年で死亡します。

筋萎縮と筋力低下によって、手足が使いにくい、話しにくい、食べ物が飲み込みにくいという症状で始まり、上肢機能、歩行、構音、嚥下や呼吸に障害などが生じますが、(ウ)、冷感や痛感などの感覚は最期まで残ります。

	ア	イ	ウ
1	延髄	10	視覚や聴覚
2	脊髄	10	認知機能
3	延髄	2～4	認知機能
4	脊髄	2～4	視覚や聴覚

12 統合失調症に関する記述の()内に入る語句の組合せとして正しいものはどれか。

統合失調症はいくつかの段階を経て進行する慢性疾患です。思考や行動、感情を1つの目的に沿ってまとめていく能力、すなわち統合する能力が長期間にわたって低下し、その経過における精神病性の特徴である、陽性症状、陰性症状、認知機能障害により特徴づけられ、これにより社会的関係およびセルフケアが著しく妨げられます。有病率は人口の約(ア)%で、発症は(イ)が多くみられます。

原因は明らかになっていませんが、(ウ)など脳の神経伝達物質の活性の変化、遺伝学的危険因子や環境などの様々な要因が複合的に関わっているといわれています。

	ア	イ	ウ
1	1	青年期から壮年期	アドレナリン
2	3	思春期から青年期	アドレナリン
3	1	思春期から青年期	ドパミン
4	3	青年期から壮年期	ドパミン

13 うつ病に関する記述の()内に入る語句の組合せとして正しいものはどれか。

うつ病とは、持続的な抑うつ気分、興味または喜びの喪失、倦怠感などの心的感情や身体的感情のみならず、(ア)や食欲低下など身体症状も含む徴候により特徴づけられる精神疾患です。

日本におけるうつ病の生涯有病率は(イ)%で、(ウ)で発症頻度が高く、社会経済的な影響および自殺リスクへの影響は大きいとされています。

	ア	イ	ウ
1	不眠	3～7	中高年期
2	不眠	1～2	思春期から青年期
3	傾眠	3～7	思春期から青年期
4	傾眠	1～2	中高年期

14 てんかんに関する記述の()内に入る数値の組合せとして正しいものはどれか。

てんかんは、特発性(遺伝素因性)と症候性(基礎疾患あり)に大別され、約 70%が特発性、約 30%が症候性で、わが国の患者数は約(ア)万人とされています。

てんかん発作のうち大発作は、全身けいれんを主症状とするもので、突然意識を喪失し、四肢を硬直させて転倒し、続いて四肢をガクガクと痙縮させます。一方、小発作は、意識を消失して動作を停止する発作で持続時間は数秒から(イ)秒程度です。てんかん患者の約(ウ)割は、抗てんかん薬療法によって発作が抑制されます。

	ア	イ	ウ
1	10	3 分	8
2	10	30 秒	5
3	100	3 分	5
4	100	30 秒	8

<5章 障害者の特徴と歯科 発展知識確認テスト>

1 次の、ダウン症に関する記述の()に入る語句の組合せとして正しいものはどれか。

通常ヒトの細胞は 23 本の染色体を 2 セット、合計 46 本の染色体を持っています。このうち 22 本は男女共通(常染色体)で 1 本は男女によって異なります(性染色体)。ダウン症患者の約 95%は(ア)番目の染色体が(イ)本で合計 47 本もつ「(ア)トリソミー」です。

低身長で短頭、短い首、平坦な顔貌、(ウ)舌、つり上がった目など特徴的な顔立ちで、知的能力障害を伴います。

	ア	イ	ウ
1	21	3	大きな
2	21	1	小さな
3	23	3	小さな
4	23	1	大きな

2 「自閉スペクトラム症」の特徴に関する記述として誤っているものはどれか。

- 1 自閉症スペクトラム症患者の約 20～30%は知的能力障害をもつが、患者の中には、特定の分野で優れた能力を発揮する人もいる(サヴァン症候群)。
- 2 思春期以降にてんかんを発症することが多く、25～30%の頻度で合併する。
- 3 IQ が 70 以上の高機能自閉症は他人に障害があることを理解してもらえず、幼児期にパニック、自傷、他害、抜毛、チックなど、思春期以降に過換気症候群、抑うつ状態をきたすことがある。
- 4 ストレスなどで周囲の人に対する不信感や嫌悪感がつのり、激しい他害や自傷などの強度行動障害を示すことがある。

3 注意欠如・多動症に関する記述の()内に入る語句・数値の組合せとして正しいものはどれか。

注意欠如・多動症(ADHD:Attention Deficit/Hyperactivity Disorder)は、12歳前に症状が発現し、不注意、多動性、衝動性を特徴とします。

学童期の有病率は約(ア)％、成人期では約2.5％とされており、男女比は、小児期で(ア):1、成人期が1.6:1です。

ADHDは、(ア)障害(50～80％)を合併し、反抗挑戦性障害、素行障害、破壊的行動障害、気分障害、不安障害、コミュニケーション障害がみられることがあり、行動的特徴から、歯の破折や脱臼などの歯牙外傷が多くみられます。

	ア	イ	ウ
1	2	2	気分
2	2	5	認知
3	5	2	学習
4	5	5	知的能力

4 脳性麻痺の運動障害の分類に関する記述の()内に入る語句・数値の組合せとして正しいものはどれか。

脳性麻痺の70～80％を占める(ア)は、筋肉が固くなり運動量が少なくなります。四肢を屈曲・伸展させる際に急激に抵抗が減少するジャックナイフ様現象がみられます。

脳性麻痺の10％を占める(イ)は、筋肉が固くなり、不随意的非協調性運動がみられます。精神的緊張で不随意運動が強くなり、リラックスすると筋肉は柔らかくなります。

このほか、筋肉が柔らかくなり運動量が少なくなる(ウ)、協調運動や平衡感覚に障害がみられ、立位でのバランスと歩行が不安定になる失調型、四肢を屈曲、進展するとき、鉛の管を曲げる時のような抵抗(鉛管様抵抗)がある固縮型があります。

	ア	イ	ウ
1	アテトーゼ型	低緊張型	痙直型
2	痙直型	アテトーゼ型	低緊張型
3	アテトーゼ型	痙直型	低緊張型
4	低緊張型	アテトーゼ型	痙直型

5 脳性麻痺患者の過緊張への対応に関する記述の()内に入る語句の組合せとして正しいものはどれか。

過緊張では、口を開けようとする手や足が突っ張ってしまったり、(ア)になり口が閉じなくなったりしてしまいます。また、精神的な緊張によって、筋緊張が亢進するので、介助みがきの時は、和やかで急がせない、ゆったりした雰囲気作りが重要です。

脳性麻痺の人は、股関節、膝関節を(イ)させると筋緊張が亢進する特性があるので、全身的な筋緊張を緩和するには、(ウ)、「ボバースの反射抑制体位」が有効です。

	ア	イ	ウ
1	過開口	屈曲	膝を伸ばし、頭を後ろに引く
2	過開口	伸展	膝を曲げ、頭を前に出す
3	過呼吸	屈曲	膝を伸ばし、頭を後ろに引く
4	過呼吸	伸展	膝を曲げ、頭を前に出す

6 脳性麻痺患者の歯科衛生士の介入に関する記述の()内に入る語句の組合せとして正しいものはどれか。

顔面の向きや体位を変えるときは、以下の反射が起こるので特に注意が必要です。

顔面が側方を向いたとき、顔面側の上肢、下肢が(ア)し、反対側は(イ)します。

顔面を無理に正面に向けようすると、緊張が強くなります。

(ウ)位では伸展痙性が強くなります。

(エ)位では屈曲痙性が強くなります。

	ア	イ	ウ	エ
1	屈曲	伸展	仰臥	腹臥
2	屈曲	伸展	腹臥	仰臥
3	伸展	屈曲	仰臥	腹臥
4	伸展	屈曲	腹臥	仰臥

7 重症心身障害患者の特徴と歯科衛生士の介入に関する記述として誤っているものはどれか。

- 1 脊柱側彎、胸郭変形や股関節脱臼がみられ、骨粗鬆症のため骨折しやすく、てんかんの合併率が高く、摂食嚥下障害のため経管栄養となることが多くある。
- 2 加齢変化が早くからみられ高齢者におけるフレイル(虚弱化)やサルコペニア(筋量・筋力減少)といった現象がみられるが、進行は遅い。
- 3 歯磨きや歯科治療のときには唾液や注水を誤飲・誤嚥させないように確実に吸引する。
- 4 全介助であるため、介護者による口腔清掃とともに歯科医師、歯科衛生士による定期的な口腔衛生管理が欠かせない。

8 筋ジストロフィーの特徴に関する記述の()内に入る語句の組合せとして正しいものはどれか。

筋ジストロフィーは、全身の筋肉(骨格筋)線維が萎縮・変性する進行性の疾患で、(ア)型と(イ)型が多くみられます。

(ア)デュシェンヌ型筋ジストロフィーは、筋ジストロフィーの半数を占めており、日本の男性に約 3,500 人に1人の割合で発症します。初発症状として一人歩きの遅れや走れない、転びやすいなどの症状が 1～3 歳頃にみられ、約 10 年以内に歩行困難となります。呼吸筋や心筋の変性や側彎による呼吸不全や心不全によって、多くの場合(ウ)歳前後で死亡します。

(イ)型筋ジストロフィーは、日本特有の常染色体劣性遺伝の疾患で、先天性筋ジストロフィーです。全身性の低緊張・筋力低下により、首すわりや寝返りが遅れ、顔面筋の筋力低下により、閉口困難、乏しい表情、顎関節脱臼などが生じます。約半数にけいれんを認め、発作の反復や重積も生じやすいのが特徴です。また、10 代後半から心肺機能が低下し、心不全や呼吸不全、誤嚥性肺炎で死亡することが多くあります。

	ア	イ	ウ
1	デュシェンヌ	福山	20
2	デュシェンヌ	福山	40
3	福山	デュシェンヌ	20
4	福山	デュシェンヌ	40

9 脊髄損傷に関する記述の()内に入る語句の組合せとして正しいものはどれか。

事故や病気によって脊柱の骨折、脱臼や圧迫を生じ、脊髄が損傷して知覚・運動・自律神経が麻痺した状態をいいます。国内の年間発生数は約(ア)人で、損傷部位によって症状が異なります。たとえば、(イ)の損傷では排尿や性機能障害が生じますが、(ウ)の損傷では四肢の麻痺や呼吸障害などが生じます。

	ア	イ	ウ
1	5 千	頸椎部	仙髄部
2	1 万	頸椎部	仙髄部
3	5 千	仙髄部	頸椎部
4	1 万	仙髄部	頸椎部

10 関節リウマチ患者への歯科衛生士の介入に関する記述として誤っているものはどれか。

- 1 長期にわたりステロイドを服用している場合には、歯髄腔の拡大がみられる。
- 2 開口障害が認められる場合には、ヘッドが小さいハンドピースやショートシャンクのバーを使用するなどの配慮が必要となる。
- 3 頸椎や腰椎の変形がある場合、頭部の運動が困難であったり治療時の体位に制約が生じる。
- 4 手指の変形によって関節可動域の制限や握力低下が生じると、歯ブラシの把持が困難になるため、障害に応じた歯ブラシの選択や改良が必要となる。

11 脳血管障害による左片麻痺に関する記述の()内に入る語句の組合せとして正しいものはどれか。

左片麻痺は、脳の(ア)部分に病変がある場合に起こる症状で、身体の左半身側に運動障害を起こすだけでなく、身体左半身側の痺れ(感覚障害)や視野障害が起こります。また、「自分の左側の空間認知ができない(イ)」といった高次脳機能障害を合併することもあります。

(イ)は、空間に対する認知障害であり、視覚的には見えているのに脳が判断しないために「見えていない」状態になり、左側の物体にぶつかってしまう、自分の左側に用意された食事に気づかず食べないといった症状がみられるので、患者の左側にもものや食事を置かないなどの工夫が必要です。

さらに左片麻痺患者では、病態失認が出現し「障害の(ウ)」がされず、訓練に熱意をもたない場合が多くみられます。このため、利き手である右手の機能が残っていても日常生活動作が自立していない場合が多く、過度な介助に注意が必要です。

	ア	イ	ウ
1	右側	片側空間失行	適応
2	左側	片側空間失行	受容
3	右側	半側空間失認	受容
4	左側	半側空間失認	適応

12 脳血管障害による右片麻痺に関する記述の()内に入る語句の組合せとして正しいものはどれか。

右片麻痺患者では、言語中枢が右利きの人の場合は 99%、左利きの人は 50%が(ア)に存在しているため、(イ)が多くみられます。(イ)とは、聞く、話す、文字を書く、読むということすべてに障害が現れる症状で、話し言葉の表出における運動障害(麻痺)である構音障害(いわゆる、ろれつが回らない状態)とは区別されます。

また、(ア)に障害があると意味・目的をもった一連の動作が行えなくなるという(ウ)が現れることもあります。(ウ)では、歯ブラシで髪を整えようとしたりするなど道具の使い方と手の動きが脳の中で一致せず、わかっているけど使えない、間違った道具の使い方をする様子がみられます。しかし、訓練によってできるようになることも多いため、根気強い対応が重要です。

	ア	イ	ウ
1	左脳	失語症	観念失行
2	左脳	失語症	実行機能障害
3	右脳	失認症	観念失行
4	右脳	失認症	実行機能障害

13 脳血管障害患者への歯科衛生士の介入に関する記述として誤っているものはどれか。

- 1 慢性期の脳血管障害のある人は、血圧を 140/90mmHg 以下に維持されていることが多く、歯科治療時の血圧や脈拍を確認しながらリラックスさせ、痛みがないように処置を行う。
- 2 脳梗塞のある人は、抗血栓薬(抗凝固薬、抗血小板薬)を服用しているので、抜歯やスケーリングのときに止血しにくいことがある。主治医に問い合わせ、PT-INRの確認を行い 5 未満であれば、服薬を中止する必要はない。
- 3 脳血管障害で寝たきりの人に歯科訪問処置を行う場合、バイタルサインが変動するなど体調がよくないときは、無理せずに処置を延期する。
- 4 多職種連携が行われていることが多く、歯科衛生士は口腔内の状況について情報を提供し、また、他職種からは全身や介護の状態についての情報を受けて、互いに情報を共有して歯科衛生業務に反映していく必要がある。

14 筋萎縮性側索硬化症(ALS)患者の口腔の特徴や歯科衛生士の介入に関する記述として誤っているものはどれか。

- 1 筋力低下と球麻痺による舌筋の萎縮、下顎反射の低下、咽頭または催吐反射が消失し、構音障害と摂食嚥下障害が高頻度で出現する。
- 2 口腔機能の低下から唾液嚥下が困難となるが、進行に伴い唾液量も減少するため流涎は少ない。しかし、乾燥による感染症のリスクが上昇するため口腔衛生管理は必要である。
- 3 姿勢の安定化と呼吸の確保、誤飲防止などに留意し、生体情報モニターを装着し清掃・処置を行う。また言語障害に対しては、筆談やコンピュータなど、代替コミュニケーション手段を使用する。
- 4 口腔清掃状態や口腔機能の低下による誤嚥性肺炎や窒息のリスクを軽減し、QOLを保つためにも、口腔衛生管理と摂食嚥下リハビリテーションは重要である。

15 統合失調症患者の口腔の特徴と、歯科衛生士の介入に関する記述の()内に入る語句の組合せとして正しいものはどれか。

統合失調症患者は、う蝕や歯周病の罹患率が高い傾向にあります。これは、抗精神病薬の副作用による唾液分泌の減少や錐体外路症状、感情の平板化、意欲減退、社会的引きこもりなどの慢性期に現れる(ア)症状、認知障害による口腔衛生状態の悪化が要因とされています。

抗精神病薬の服用者は、副作用で錐体外路症状が出現することがあり、歯科領域では(イ)(顎口腔周囲の不随意運動)、(ウ)(顎口腔領域の筋緊張異常)が問題となります。

	ア	イ	ウ
1	陽性	オーラルジスキネジア	ジストニア
2	陽性	ジストニア	オーラルジスキネジア
3	陰性	ジストニア	オーラルジスキネジア
4	陰性	オーラルジスキネジア	ジストニア

16 うつ病患者の口腔の特徴と、歯科衛生士の介入に関する記述として誤っているものはどれか。

- 1 うつ症状の程度によって異なるが、口腔衛生管理能力が低下しう蝕や歯周病が多発しやすくなる傾向がある。
- 2 うつ病患者の服用する抗精神病薬に関して、抗うつ薬には、唾液分泌減少をもたらすものがあるので、湿潤剤などの口腔ケア用品が必要なことがある。
- 3 精神症状のために患者の訴えがわかりにくかったり、不合理な症状を訴えたりすることがあり、よく傾聴し、受容的・支持的な対応を心がける。
- 4 うつ病患者は適応能力が低下することがあるため、早期に本格的な歯科治療と歯科衛生介入を行い、口内衛生環境を整えるようにする。

17 てんかん患者の口腔の特徴と、歯科衛生士の介入に関する記述として誤っているものはどれか。

- 1 抗てんかん薬(主にフェニトイン)を服用している患者では、約 50%に歯肉増殖を生じる。
- 2 てんかん発作が起きたときには、ただちに歯科治療・処置を中止し、口腔内から器具などを除去し、気道の閉塞を防ぐ。
- 3 歯肉増殖が著しい場合、原因となっている薬剤の中止や減量を患者と薬剤師に伝え、増殖を予防する。
- 4 歯肉増殖がみられる場合、プラークの付着が歯肉炎と薬物性歯肉肥大の増悪因子となるので、徹底した口腔清掃を行う。

<6章 薬剤と歯科 基礎知識確認テスト>

1 歯肉を増殖させる作用を持つ薬剤に関する記述の()内に入る語句の組合せとして正しいものはどれか。

薬物服用者の歯肉増殖発現率が約 50%と非常に高い(ア)は、(イ)として長期間処方されます。

歯間乳頭の炎症性増殖として発現し、辺縁歯肉まで炎症が及びます。増殖が進行すると歯冠乳頭部が近接してクレフトを形成し歯冠をほとんど覆うこともあります。

歯肉増殖は(ウ)で顕著で舌側より唇側に、下顎より上顎に多く認められます。口腔清掃良好な患者では歯肉増殖が発症しないことから、プラークコントロールが重要になります。

	ア	イ	ウ
1	フェニトイン	てんかん治療薬	前歯部
2	カルシウム拮抗薬	高血圧症治療薬	大小臼歯部
3	フェニトイン	免疫抑制薬	前歯部
4	シクロスポリンA	免疫抑制薬	大小臼歯部

2 歯肉を増殖させる作用を持つ薬剤に関する記述の()内に入る語句の組合せとして正しいものはどれか。

薬物服用者の歯肉増殖発現率が 10～20%の(ア)は、高血圧症や(イ)患者が服用します。

歯肉増殖は全顎的にみられますが前歯部で顕著に発現することが多く、(ウ)が発症の引き金になっていると言われています。

	ア	イ	ウ
1	シクロスポリンA	免疫異常	プラーク
2	シクロスポリンA	骨髄移植	出血
3	カルシウム拮抗薬	狭心症	プラーク
4	フェニトイン	てんかん	出血

3 歯肉を増殖させる作用を持つ薬剤に関する記述の()内に入る語句の組合せとして正しいものはどれか。

(ア)は、抗真菌薬として開発された(イ)で臓器・骨髄移植を受けた患者の拒絶反応を抑制するほか、パーチェット病、再生不良性貧血患者に用いられます。

発現率は平均 25%で、特に(ウ)を受けた患者は高血圧と共にしばしばみられます。

予防は困難で、全身状態を考慮し抗菌薬の前投与などを含めた治療計画について主治医と連携をとる必要があります。

	ア	イ	ウ
1	カルシウム拮抗薬	降圧剤	骨髄移植
2	シクロスポリンA	免疫抑制薬	腎臓移植
3	フェニトイン	抗痙攣薬	骨髄移植
4	シクロスポリンA	抗痙攣薬	腎臓移植

4 口腔内に影響を与える作用を持つ薬剤に関する記述の()内に入る語句の組合せとして正しいものはどれか。

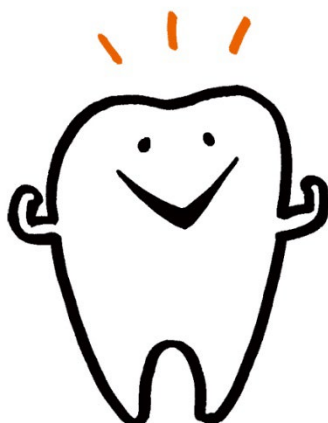
狭心症や心筋梗塞、脳梗塞のリスクがある人が服用する抗凝血剤(抗血栓薬)は歯肉出血が止まりにくくなるため、服用中に歯科で外科的処置が必要になった場合、主治医と(ア)などを止めるかどうか相談をする必要がある。

骨粗鬆症の予防をしている人や、骨折したことがある人、ステロイド治療を受けている人が服用している可能性があるビスフォスフォネート製剤を長期間服用している場合、(イ)のリスクがある。

免疫力の低下や細菌叢の乱れ、口腔内の不衛生や唾液の分泌低下などで(ウ)菌が増殖した場合、口腔(ウ)カンジダ症を発症する。偽膜性(ウ)症は口腔内に白い苔が出現し、萎縮性(ウ)症では口腔内に発赤やびらんがみられる。

	ア	イ	ウ
1	パララミン	顎骨壊死	ヘルペス
2	パララミン	顎骨髄炎	カンジダ
3	ワーファリン	顎骨髄炎	ヘルペス
4	ワーファリン	顎骨壊死	カンジダ

歯科衛生士のための
訪問歯科学習テキスト
確認テスト
正答と解説



<1章 訪問歯科の制度 基礎知識確認テスト解答解説>

1 正答 2

2 全国の歯科診療所数の約 15.7%が東京都にある。

2 正答 1

虫歯のない幼児(3 歳児)の割合 ワースト 5(R2)

青森県	79.9%
沖縄県	80.4%
秋田県	81.2%
熊本県	81.6%
長崎県	82.0%

虫歯のない幼児(3 歳児)の割合 ベスト 5(R2)

東京都	93.0%
愛知県	92.3%
新潟県	91.7%
鳥取県	91.3%
岐阜県	91.3%

厚生労働省 歯科保健医療に関するオープンデータ(令和 4 年度)より作成

3 正答 4

4 令和 3 年度の全国の在宅サービス提供歯科診療所割合は、関東、関西地方は低く、中四国、九州、北陸地方は高い傾向にある。

4 正答 3

2022 年の日本の人口は、約 1 億 2495 万人

5 正答 2

2022 年の日本の 65 歳以上の高齢者の人口比は、29.0%

6 正答 4

医療費は減少し、前年伸び率はマイナス 3.1%だった。

7 正答 1

住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、国が推進している体制は地域包括ケアシステム

8 正答 1

訪問診療とは、長期的な医療計画のもとに実施され、外来医療とは異なる診療です。一方、往診は、依頼時のみ実施される緊急対応で外来診療の延長線上に位置します。

在宅歯科医療は、地域の「かかりつけ歯科」が担当することが望ましいとしています。

9 正答 3

診療所から 16km 以内(離島や過疎地などは例外あり)

病院で行う場合は、訪問先の病院が「歯科・歯科口腔外科・小児歯科・矯正歯科のいずれも標榜していないこと」(周術期口腔機能管理については例外あり)

デイサービス(通所介護)・デイケア(通所リハビリテーション)など通所施設でないこと居宅や施設内などの屋内で実施する(屋外や訪問診療車などに移動して診療不可)

10 正答 1

診察:患者や家族だけでなくケアマネジャーや主治医、訪問看護など多職種連携による情報共有が重要になる。オンライン診療の活用なども検討する。

検査:最低限の生体モニターや迅速な検査ツールが必要になる。

処置:飛沫などの曝露に注意し、リスクに応じた感染予防対策を実施する。

手術:普通抜歯や消炎処置等が一般的な対応範囲である。

投薬:本人や家族等の服薬管理能力を把握し、服薬支援を実施することが必要。できる限り処方箋を発行し、かかりつけ薬剤師による一元管理が行われるようにする。

11 正答 2

- | | |
|---------|------------|
| 1 介護保険法 | 65 歳以上の高齢者 |
| 3 児童福祉法 | 18 歳未満の障害児 |
| 4 生活保護法 | 生活保護受給者 |

12 正答 2

歯科訪問診療補助	医療保険	歯科衛生士が歯科医師と同行し行う歯科訪問診療補助
訪問歯科衛生指導	医療保険	歯科医師の指示に基づき、患者の口腔内の清掃、有床義歯の清掃指導又は口腔機能の回復若しくは維持に関する実地指導
摂食機能療法	医療保険	診療計画書に基づき、歯科医師の指示の下に行う摂食機能訓練指導
在宅等療養患者専門的口腔衛生処置	医療保険	歯科医師の指示を受け、専門的口腔清掃処置を行う
歯科衛生士等居宅療養管理指導	介護保険	歯科医師と歯科衛生士が共同して管理指導計画を作成し、歯科衛生士等が利用者を訪問して実地指導を行う
歯科衛生士等介護予防居宅療養管理指導	介護保険	歯科医師と歯科衛生士が共同して管理指導計画を作成し、歯科衛生士等が利用者を訪問して実地指導を行う

13 正答 3

歯科衛生士等居宅療養管理指導は、歯科医師と歯科衛生士が共同して管理指導計画を作成し、歯科衛生士等が利用者を訪問して実地指導を行う

14 正答 1

介護保険制度は、日本の高齢化に対応するため 2000 年に創設されました。40 歳になった月から介護保険料を徴収し、介護サービスを利用した場合、費用の 1～3 割を自己負担します。

15 正答 2

保険料を徴収し保険を支払う「保険者」は、特別区・市町村です。保険料を支払う「被保険者」は 40 歳以上の者になります。

16 正答 4

40～65 歳未満で医療保険加入者を第 2 号被保険者、65 歳以上の者を第 1 号被保険者といいます。介護保険の給付を受けることができるのは、第 1 号被保険者のうち要介護・支援認定を受けた者と第 2 号被保険者のうち特定疾病のために介護が必要になり市町村から認定された者です。

17 正答 1

要介護認定	居宅介護支援事業者のケアマネが「ケアプラン」を作成し介護サービスを利用
要支援認定	地域包括支援センターの保健師等が「介護予防ケアプラン」を作成し予防サービスを利用
事業対象者	要介護認定制度を通さず、「基本チェックリスト」を実施し該当した場合に認定される。要支援 1 とほぼ同等だが、総合事業サービス以外の給付は受けることができない。
非該当	健康診査の結果 1 年以内に介護のおそれがある高齢者(特定高齢者)は、地域包括支援センターの保健師等が「介護予防プラン」を作成し、介護予防プログラムに参加 元気な高齢者(一般高齢者)は、市町村が行う「高齢者サービス」を利用

18 正答 2

< 自宅から通って利用するサービス(通所介護サービス) >

通所介護 (デイサービス)	利用者がデイサービスセンターなどに通い、入浴、食事など日常生活上の世話や簡単な機能訓練サービスを受けます。
通所リハビリテーション (デイケア)	医師の指示に基づき、介護老人保健施設、病院、診療所などに通い、介護予防を目的として一定期間にわたり、心身の機能の維持回復を図り、日常生活の自立を助けるために必要なリハビリテーションを受けます。
短期入所生活介護 (ショートステイ)	特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)などに短時間入所して、入浴、排せつ、食事の介護などの日常生活上の世話や機能訓練などを受けます。ただし、宿泊費、食費、日常生活費は自己負担になります。
短期入所療養介護 (ショートステイ)	医師の指示に基づき、介護老人保健施設、介護療養型医療施設などに短期間入所し、医師・看護師の管理の下で介護や機能訓練、必要な医療を受けます。
認知症対応型通所介護	従来のデイサービスに加えて、認知症高齢者グループホームのリビングなどの共有スペースも利用できます。
地域密着型通所介護 (小規模デイサービス)	日中、利用定員 18 人以下の小規模のデイサービスセンターなどに通い、入浴、食事など日常生活上の世話や簡単な機能訓練サービスを受けます。
小規模多機能型居宅介護	利用登録した1ヵ所のサービス事業所で、訪問介護、デイサービス、短期宿泊などを取り入れた複合的なサービスが受けられます。

19 正答 1

「摂食機能療法」は、摂食機能障害を有する患者に対して、診療計画書に基づき、医師、歯科医師もしくは医師または歯科医師の指示の下に言語聴覚士、看護師、准看護師、歯科衛生士、理学療法士、作業療法士が訓練指導を行った場合に算定される。

20 正答 1

「在宅等療養患者専門的口腔衛生処置」は、歯科医師の指示を受けた歯科衛生士が専門的口腔清掃処置を行った場合に算定でき、月 1 回に限る。

21 正答 3

歯科医師と歯科衛生士が共同して管理指導計画を作成し、歯科衛生士等が利用者を訪問して実地指導を 30 分以上行った場合(月4回に限る)

<1章 訪問歯科の制度 発展知識確認テスト解答解説>

1 正答 3

3 令和3年度の人口 10 万人あたりの歯科衛生士が最も少ないのは青森県で、78.4 だった。

2 正答 3

3 令和元年から 4 年の間の在宅サービス提供歯科診療所増加率が最も低かったのは沖縄県で、1.16 倍だった

3 正答 3

2045 年は 1 億 880 万人、2056 年に 1 億人を割り 9965 万人、2070 年に 8700 万人になると推計している。

4 正答 2

社会保障給付費のうち、約 5 割が年金、約 3 割が医療給付である。

5 正答 2

急変時の診療や一時受入れは、病院。

服薬管理や医療処置の実施は訪問看護事務所でも行う。

6 正答 3

(対象患者)

1) 疾病・傷病のため通院が困難、又はこれに準じる状態(心身や家族・介護者の支援状況、生活・療養状態などを勘案)であることが必要です。

2) 自宅や宿泊施設での療養を余儀なくされている患者や希望している感染症関連患者が対象になります。

3) 患者の求めに応じて訪問の同意を得ている、または継続的な歯科治療が必要と認められる患者の同意を得ていることが必要です。

7 正答 3

歯科訪問診療補助	医療保険	歯科衛生士が歯科医師と同行し行う歯科訪問診療補助
訪問歯科衛生指導	医療保険	歯科医師の指示に基づき、患者の口腔内の清掃、有床義歯の清掃指導又は口腔機能の回復若しくは維持に関する実地指導
摂食機能療法	医療保険	診療計画書に基づき、歯科医師の指示の下に行う摂食機能訓練指導
在宅等療養患者専門的口腔衛生処置	医療保険	歯科医師の指示を受け、専門的口腔清掃処置を行う
歯科衛生士等居宅療養管理指導	介護保険	歯科医師と歯科衛生士が共同して管理指導計画を作成し、歯科衛生士等が利用者を訪問して実地指導を行う
歯科衛生士等介護予防居宅療養管理指導	介護保険	歯科医師と歯科衛生士が共同して管理指導計画を作成し、歯科衛生士等が利用者を訪問して実地指導を行う

8 正答 4

4 サービス付き高齢者向け住宅に訪問し、要支援 1 の入所者に「管理指導」を行うと、介護保険(介護予防居宅療養管理指導)になる。

9 正答 3

3 認定調査は、市町村担当職員などが訪問し心身の状態や環境調査を行う。

相談は、地域包括支援センター、市町村介護保険担当窓口で行う

要介護認定の申請は、市町村介護保険担当窓口で行う

認定調査は、市町村担当職員などが訪問し心身の状態や環境調査を行う。

一次判定は、認定調査と主治医意見書の内容をコンピュータに入力し、全国一律の基準により、介護の手間(要介護認定基準時間)を算出して行われる。

二次判定は、市町村が介護認定審査会を設置し、一次判定を原案として資料や認定調査特記事項・主治医意見書を参考にして介護認定を行う。

10 正答 4

4 二次判定は、市町村が介護認定審査会を設置し介護認定を行う。

11 正答 3

非介護保険サービス	介護保険サービス		
元気な高齢者	介護予防が必要な高齢者	介護が必要な高齢者	
一般高齢者	要支援高齢者	要介護高齢者	
	認定審査会判定要支援 1・2 およびチェックリスト該当者	認定審査会判定 要介護 1～5	
一般介護予防事業	介護予防生活支援サービス (予防給付)	介護サービス(介護給付)	
	介護予防ケアプラン 地域包括支援センター ※自分で計画作成可	在宅介護ケアプラン 居宅介護支援事務所 ※自分で計画作成可	施設介護ケアプラン 居宅介護支援事務所 ※自分で計画作成可
介護予防把握・普及啓発・地域 介護予防活動支援・一般介護予 防事業評価・地域リハビリテーシ ョン活動支援	訪問系サービス 通所系サービス 短期入所系サービス 居住系サービス 住環境改善 地域密着型サービス 総合事業サービス	訪問系サービス 通所系サービス 短期入所系サービス 居住系サービス 住環境改善 地域密着型サービス	(要介護 3 以上) 介護老人福祉施設(特別養 護老人ホーム)
市町村サービス 予防人材育成や地域活動の育 成支援、住民主体の通いの場へ の支援			(要介護 1 以上) 介護老人保健施設(老健) 介護医療院
福祉施設 養護老人ホーム(生活困窮者)、 軽費老人ホーム(援助困難者) 健康型有料老人ホーム、高齢者 賃貸住宅など			

12 正答 3

＜自宅で利用するサービス(居宅介護サービス)＞

訪問介護 (ホームヘルプ)	介護福祉士やホームヘルパーなどの介護専門職が訪問し、身体介護(食事、入浴、排せつ介助、オムツ交換・着替え介助)サービス、生活援助(調理、掃除、洗濯などを利用者とはできるだけ一緒に行う)サービスを受けます。
訪問看護	医師の指示にもとづき、看護師などが自宅を訪問し、療養上の世話や必要な診療補助のサービスを受けます。 2012年より同一の事業者による訪問介護と組み合わせた「24時間定時巡回・随時対応訪問介護看護サービス」が受けられるようになりました。
訪問入浴介護	自宅に設置された介護専用の浴槽で入浴サービスを受けます。
訪問リハビリテーション	医師の指示に基づき理学療法士(PT)などが自宅を訪問し、筋力の維持回復や日常生活の自立を助けるために必要なリハビリテーションのサービスを受けます。
夜間対応型訪問介護	夜間、自宅に定期的な巡回を行なう訪問サービスで、緊急時の通報にも対応します。「定期巡回」「随時対応」「緊急通報に応じた調整・対応」を組み合わせ利用できます。
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	同一の事業所、または緊密に連携の取れた事業所同士による訪問介護・看護サービスを、日中および夜間を通じての短時間の定期巡回訪問と、利用者からの要請による随時対応訪問を行ないます。
看護小規模多機能型居宅介護(旧・複合型サービス)	小規模多機能型居宅介護と訪問看護を組み合わせサービスの提供を行ないます。要介護度が複数の異なるサービスを同一の事業所から提供される為、サービスの利用に際して、各サービス間の調整がスムーズに行なわれます。
居宅療養管理指導	医師、歯科医師、薬剤師、歯科衛生士などが自宅を訪問し、療養上の管理や指導の他、栄養状態管理や口腔衛生維持などのサービスを受けます。診療や投薬・検査・処置を受けた場合は、別途医療費用がかかります。

13 正答 4

＜生活の場を自宅から移して利用するサービス＞

介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	要介護度 3 以上の方で、在宅での生活が困難な状態にある寝たきりや認知症の高齢者のための入所施設です。一般的には「特養」と呼ばれています。食事・排泄・入浴などの介護や機能訓練などがサービスの中心となります。ほとんどの自治体で申込者が多く順番待ちという状況です。
介護老人保健施設	病状が慢性期にある高齢者に対してリハビリテーションを中心に、看護・介護や限定的な医療を行なう施設です。一般的には「老健」と呼ばれています。入所は、リハビリテーションの必要性や持病の程度などから入所が可能かどうか判定されます。入所後は3ヵ月毎に入所の継続が検討されます。(要介護1以上)
介護医療院	病状が安定した長期療養が必要な高齢者を入院させる医療施設です。医師・看護師による「日常的な医療ケア」や「看取りやターミナルケア」等の医療機能と生活施設としての機能を兼ね備えています。
特定施設入居者生活介護	有料老人ホームやケアハウスなどに入居している利用者が、入浴、排泄、食事の介護など日常生活上の世話や機能訓練および療養上の世話を受けます。
認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	認知症高齢者5人～9人を1つのグループとして、一緒に居住し共同生活を送りながら介護を受けます。家庭的な生活環境の中で、日常生活上の介護を受けながら生活できます。疾患が急性状態の場合は対象外です。
地域密着型特定施設入居者生活介護	定員 29 人以下の小規模有料老人ホームに入居している方へのサービスです。内容は、食事・入浴・排泄・リハビリテーション・療養上の世話などです
地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	日常生活圏域内に住む高齢者のみが利用でき、入所者が定員 29 人以下の小規模な特別養護老人ホームです。(原則要介護3以上。特例的に要介護1・2でも認められる場合があります。)
介護療養型医療施設 ※2023年度末に廃止	慢性疾患を有し、長期の療養が必要な方のために、介護職員が手厚く配置された医療機関(施設)です。病状は安定していても自宅での療養生活は難しいという方が入所して、必要な医療サービス、日常生活における介護、リハビリテーションなどを受けることができます。特別養護老人ホームや介護老人保健施設に比べて、医療や介護の必要度が高い方を対象にしています。

14 正答 2

＜生活環境を整えるためのサービス＞

福祉用具貸与	事前にケアマネに相談が必要です。手すり、歩行補助杖、歩行器、スロープを月々の利用限度額内でレンタルできます。 車いす・体位変換器・移動用リフト・認知症高齢者徘徊検知機器・特殊寝台・床ずれ予防器具・自動排泄処理装置は利用条件が決められています。
特定福祉用具販売	福祉用具のうち、腰掛便座、入浴補助用具、自動排泄処置装置、簡易浴槽、移動用リフトの吊り具部分は、年間 10 万円まで1～3割の自己負担額で購入できます。
住宅改修費支給	住居での生活をしやすいするために、自宅への手すりの取り付けや段差解消、すべり止め、扉の取り替え、便器の取り替えなど、住宅改修に対して費用が支給されます。



15 正答 2

訪問歯科衛生指導料

歯科訪問診療を行った歯科医師の指示に基づき、歯科衛生士、保健師、看護師又は准看護師が訪問して療養上必要な指導として、単一建物診療患者又はその家族等に対して、当該患者の口腔内の清掃、有床義歯の清掃指導又は口腔機能の回復若しくは維持に関する実地指導を行い指導時間が 20 分以上であった場合(患者1人につき、月4回に限る)

同一の建物に居住する患者数

		1人	2～9人	10人以上
1人に要した時間	20分以上	360点	328点	300点

16 正答 4

「摂食機能療法」は、摂食機能障害を有する患者は 30 分以上、脳卒中の発症後 14 日以内の患者は 15 分以上 30 分未満のときに算定される。

<2章 多職種連携 基礎知識確認テスト解答解説>

1 正答 3

3 ホームヘルパーからは在宅療養患者の日常生活状況を知ることができる。生活相談員は、介護施設などで入居者や家族の抱える問題(経済面、心理面、社会面など)の相談に乗り、多職種と連携して解決を図る。

2 正答 2

多職種連携に関する記述として誤っているものはどれか。

2 医療ソーシャルワーカー(MSW)は、病院などで患者や家族が抱える悩みや問題を見だし、問題解決を図るために医療機関や行政など関係機関との調整や連携を行う。生活相談員は、介護施設などで入居者や家族の抱える問題(経済面、心理面、社会面など)の相談に乗り、多職種と連携して解決を図る。

3 正答 1

1 生活支援員は、障害者福祉施設に入所又は通所している利用者の食事・入浴・排泄などの身体介護や、調理・掃除・洗濯などの家事支援、金銭管理などの直接的な支援を行う。

4 正答 1

1 理学療法士(PT)は、身体に障害のある患者、またはそれが予測される人に対して、基本動作能力(座る、立つ、歩くなど)の回復や維持、運動療法や物理療法などの理学療法を行う。

<2章 多職種連携 発展知識確認テスト解答解説>

1 正答 1

1 「訪問看護ステーション」の看護師に、口腔ケアや摂食嚥下に関する情報を提供し実施をしてもらうこともある。

2 正答 1

1 薬剤師は、患者の自宅や施設等を訪問し、薬の管理や服薬支援を行うこともある。

3 正答 4

4 ホームヘルパーが行う身体介護には食事介助や日常的な口腔ケアも含まれる。

4 正答 1

1 作業療法士(OT)は、姿勢や上肢の訓練、食器の工夫、自助具や摂食訓練などを行う。

<3章 高齢者の特徴と歯科 基礎知識確認テスト解答解説>

1 正答 3

3 握力は、70 歳で 20 歳と比べ 30%低下する。

形態の変化	身長・体重	70 歳から年に約 0.3%低下する
	姿勢	筋力の低下、骨・関節の変形で変化する
	骨	骨量減少、弾性力低下、硬度低下
	関節	膝関節、股関節、脊椎関節などの変形
運動の変化	平衡(バランス)性	70 歳で、20 歳と比べ 80%低下
	柔軟性	70 歳で、20 歳と比べ 60%低下
	脚力	70 歳で、20 歳と比べ 50%低下
	びん 敏しょう性	70 歳で、20 歳と比べ 50%低下
	歩行速度	70 歳で、20 歳と比べ 50%低下
	握力	70 歳で、20 歳と比べ 30%低下
	歩幅	70 歳で、20 歳と比べ 20%減少
循環呼吸の変化	高血圧	血管弾力性の低下で抵抗が大きくなる
	肺活量低下	肺の弾力性が低下し換気量が低下する
神経感覚の変化	神経伝達速度	70 歳で、20 歳と比べ 10%低下
	視力低下	50 歳以降急激に低下
	聴力低下	70 歳以降急激に低下。特に高音。

2 正答 1

1 睡眠時間の減少

3 正答 2

2 定期的に運動する(寝る 4 時間前まで)

4 正答 3

3 咽頭の位置が下がり、誤嚥の危険性が高くなる。

5 正答 4

4 脈が速く、血圧が低下

6 正答 3

3 高齢者では歯根部歯髄側の象牙細管内に二次的石灰化が起こるため透明化する。

7 正答 2

2 老化による影響を受けやすい記憶はエピソード記憶で、逆に最も老化の影響は受けにくいのは手続き記憶である。

8 正答 1

2 脳梗塞は、脳動脈の狭窄、閉塞が原因で動脈が流れる領域に虚血部分(血液が循環しない領域)ができ脳組織が壊死に陥る疾患。

3 くも膜下出血は、脳の表面の血管が破裂するためにくも膜下腔に出血が広がる。突然の激しい頭痛が特徴的で、頭蓋内の圧が上がるために強い悪心、嘔吐を伴う。

4 脳出血は、脳実質の中で出血が起こり、脳内にできた血腫の圧迫でさまざまな程度の頭痛、意識障害等が発症する。

9 正答 1

脳の深部の細い血管に梗塞が起き障害の範囲が狭い、運動麻痺やしびれなどの感覚障害が起こるが、自覚症状がない場合もあるのはラクナ梗塞である。脳の複数箇所にも発生した場合もあり、進行が遅い。

10 正答 3

心原性脳梗塞は、心房細動などの心疾患により不整脈が起こり心臓内の血流がよどむことで血栓ができる。これが脳に運ばれ脳動脈を詰まらせる。梗塞巣の範囲は広く、後遺症が残ることが多い。

11 正答 4

出血部位	主な症状(出血頻度)
被殻出血	片麻痺と感覚麻痺、出血側を向く共同偏視、失語。(約 40%)
視床出血	感覚障害と軽度の片麻痺、下内方を向く共同偏視(約 30%)
皮質下出血	出血部位により異なる(約 15%)
小脳出血	頭痛・嘔吐・めまい、起立や歩行困難。上下肢や体幹失調(約 8%)
橋出血	昏睡状態、四肢麻痺、呼吸障害、著しい縮瞳や眼球正中固定(約 5%)

12 正答 2

心臓の冠動脈が、糖尿病や高血圧、脂質異常症、肥満などによって動脈硬化を起こし、狭窄した状態を狭心症、閉塞した状態を心筋梗塞という。

狭心症は、労作時に胸の圧迫感や痛みが 3～5 分継続し安静にすると治るが、心筋梗塞は、安静にしても約 20 分以上激しい胸痛、冷汗が続き、心筋の壊死が進行するためすぐに救急車を呼ぶ必要がある。心筋梗塞は前兆がなく突然起こることもあるため注意が必要である。

13 正答 3

1 肺炎は、肺の感染症で肺胞に炎症が生じた状態で、酸素を取り込むことができなくなり、脳や肝臓、心臓、腎臓に大きなダメージを与える。

2 高齢者の肺炎は、発熱や咳、たんなどの症状があまりみられないこともあり、免疫力が低下していると症状が急激に進行し命にかかわることもある。

4 要介護高齢者の場合は、不良な口腔衛生状態によって口腔内の微生物を誤嚥し誤嚥性肺炎を発症する例が多くみられる。

15 正答 2

2 降圧薬として、カルシウム拮抗剤を服用している場合、歯肉増殖の副作用がみられることがある。

16 正答 4

4 口腔カンジダ症は真菌感染症で、自浄性が低下した口腔、低栄養状態、外科手術後、がん化学療法などによる免疫低下が発症の背景となる。細菌と真菌の違いは、細菌は染色体が細胞内にある原核生物で、真菌は染色体が核の中にある真核生物である。

<3章 高齢者の特徴と歯科 発展知識確認テスト>

1 正答 3

- 1 加齢や疾患などにより筋肉量が減少することをサルコペニアという。
- 2 加齢とともに心身の活力が低下する要介護の前段階をフレイルという。
- 4 フレイルは、体重減少、握力低下、歩行速度などが見られる。

2 正答 1

人の身体リズムは 24 時間より長い 24～25 時間の周期を持っているといわれています。この身体リズムを 24 時間に調整するのが体内時計です。

体内時計の機能は、脳内にある松果体にあります。松果体は光が少ない夜に、眠気のホルモンメラトニンを合成して正しい生活リズムを作りだします。朝、約 30 分間日光を浴びるとメラトニンが合成されなくなるので眠気を抑えることができます。強い光はうつ病にも効果があるとされています。

高齢者は、このメラトニンの合成が減少するため、睡眠が浅い・思っているほど寝られないという自覚症状が多くみられます。また、体内時計の機能が低下するので、生活リズムも狂いがちになります。

3 正答 2

- 2 腎臓の機能が低下し、塩分や栄養分を含んだ尿がたくさん排出される。

4 正答 4

- 4 無歯顎になると歯槽頂が舌側に移動することにより歯槽頂がつくる馬蹄形は有歯顎に比べて小さくなる。

5 正答 1

- 1 口腔粘膜上皮が薄くなり粘膜下組織も萎縮し弾力を失うため、傷つきやすくなる。

6 正答 1

抗がん剤が口腔粘膜の細胞に直接作用して発症する口腔粘膜炎や味覚障害、抗がん剤により免疫機能が低下して菌性感染症やウイルス感染症などがあります。

その発症頻度は、一般的ながん化学療法で 40%、リンパ腫や白血病などの大量の抗がん剤を使う造血幹細胞移植治療で 80%という高い頻度で起こります。

化学療法の口腔副作用

直接作用 (正常細胞に直接作用する副作用)	口腔粘膜炎(口内炎) 味覚異常 口腔乾燥 末梢神経障害
2次的作用 (免疫抑制により発症する症状)	菌性感染症 ヘルペス性口内炎(ウイルス感染) カンジダ性口内炎(真菌感染) 慢性 GVHD(移植片対宿主病)(移植治療後)

7 正答 3

3 脳梗塞は、寝たきりになる原因疾患の1位である。

8 正答 2

アテローム血栓性梗塞は、比較的太い脳の血管で起きる動脈硬化が原因の梗塞で障害の範囲が広い。顔面の片側や舌の麻痺でろれつが回らなくなる、同じ側の手足の麻痺などが起こる。

9 正答 4

ビンスワンガー病は、大脳白質が血流障害で障害され、範囲は広い。アルツハイマー型認知症のようにゆっくり進行し、初期は前頭葉型認知症の症状が現れる。頻尿や尿失禁、嚥下障害や集中力低下と手の震えなど多岐にわたるが、加齢症状と似ているので気づきにくい。

10 正答 1

出血部位	主な症状
大脳皮質頭頂葉	感覚麻痺と頭痛
大脳皮質後頭葉	半盲
大脳皮質側頭葉	視野障害、感覚性失語
大脳皮質前頭葉	強い運動麻痺、下肢および顔面の軽度運動麻痺

11 正答 4

人工呼吸管理を行っている患者は、口腔内は唾液分泌低下による自浄作用の低下、麻酔鎮静下での嚥下運動の低下、そして点滴を中心とした水分・栄養補給のため全身抵抗力が低下した状態にある。このような条件で、口腔や咽頭に存在する無数の細菌が、気管チューブに沿って、気管から肺に侵入し人工呼吸器関連肺炎を発症する。人工呼吸器関連肺炎は、挿管処置後 48 時間以降に発症し、気管挿管された患者の 17～23%に人工呼吸器関連肺炎が発症すると報告されており、人工呼吸器の管理下にある患者に口腔のケアは標準的なケアとして確立されている。

12 正答 2

2 パーキンソン病患者は自分自身で口腔管理を行うことが困難となり、口腔内汚染による口臭や歯周病、う蝕が進行し、咀嚼・嚥下機能の障害や低下が伴うことも多く誤嚥性肺炎のリスクが非常に高くなる。

13 正答 2

2 扁平苔癬は、頬粘膜に網状の白斑、紅斑、びらんを呈する慢性炎症性角化病変である。白癬は皮膚糸状菌(カビ)が皮膚の表面、爪、毛に感染した感染症。いわゆる水虫・たむし。

14 正答 3

15 正答 2

- 1 加齢により消化管機能は低下するが、薬物吸収はあまり変化しない。
- 3 加齢による肝機能の低下により薬物代謝が低下し、血中濃度が上昇する。
- 4 一般に摂取する薬剤の数が増加し、相互作用により薬剤の効果が増強したり減弱したりする。

<4章 認知症の特徴と歯科 基礎知識確認テスト解答解説>

1 正答 3

2 正答 1

3 正答 2

2 中核症状は、脳の障害から直接的に生じる。認知症の人に誰にでも現れる症状である。

4 正答 2

2 食事中は、過度な声かけをせず食事に集中しやすい静かな環境を整える。

5 正答 3

3 大脳皮質の側頭葉と頭頂葉に萎縮や血流低下がみられる。

6 正答 4

4 あなたが財布を盗んだ！と言われたときは、一緒に探し財布を見つけて本人が見つけやすい場所に移動する。

7 正答 1

1 脳梗塞や脳卒中になった日をきっかけに3か月以内に急激に発症し、状態の悪化がはっきりと階段状に段階的に進行する。

8 正答 1

1 「振戦」：じっとしているときに手足が震え、片方の手や足の震えから始まることが多い。1秒間に4～6回震える。
特定の動作をするときに手が震えるのは、「本態性振戦」で原因は不明。

9 正答 2

2 記憶や運動機能はあまり障害されない。

10 正答 3

3 周囲の影響を受けやすくなるため、食事や作業は静かな場所で行う。

<4章 認知症の特徴と歯科 発展知識確認テスト解答解説>

1 正答 4

2 正答 3

3 失行は、「スプーンの使い方(持ちかた)がわからない」。「スプーンが何をするものかがわからない」のは失認。

3 正答 1

1 見当識障害は、「食事の時間や食堂の場所がわからない」。「食事を食べさせてもらっていない」と訴えるのは記憶障害

4 正答 2

2 抑うつ 気持ちが落ち込んでやる気がない

5 正答 4

4 収集癖 不要なものも捨てず保管する○

6 正答 1

1 海馬を中心として側頭葉の萎縮が起こるので多くは記憶障害が初発症状になる。

7 正答 2

8 正答 3

3 感情の波に巻き込まれないよう、距離をとる。

9 正答 4

1 初期では、そこに存在しないものがはっきり見える幻視が繰り返される。人物や小動物が家の中に入ってくると表現されることが多い。

2 浅い眠りのとき、大声を出す、暴れる、深夜に出勤の支度をするなど異常行動(レム睡眠障害)がみられる。

3 中期になると、夕方に幻視を頻繁に見るようになり、幻視の自覚が失われ、幻視から妄想に変化し行動化しやすくなる。

10 正答 3

3 レム睡眠障害があるときは、ベッドを低床にしたり、転倒しないよう通路の障害物をなくす。○

11 正答 3

3 落ち着きがなくなりひとつの行為が続けられない「注意・集中力の低下」がみられる。

<5章 障害者の特徴と歯科 基礎知識確認テスト解答解説>

1 正答 2

2 正答 1

1 先天性欠如歯が多く、歯は全体的に小さく、歯根も短いのが特徴。

3 正答 3

4 正答 2

2 歯科処置を行う場合は、決まった場所、決まった時間、決まった順番で行う。

5 正答 1

6 正答 4

7 正答 1

8 正答 2

2 診療時の急な体位変換を避け、血圧低下やけいれん発作を予防する。

9 正答 4

10 正答 2

2 嚥下障害を伴うことが多く、片麻痺では、口腔の片側に感覚と運動の麻痺があり、食渣の滞留、舌や口唇の運動障害、流涎などがみられる。

11 正答 4

12 正答 3

13 正答 1

14 正答 4

<5章 障害者の特徴と歯科 発展知識確認テスト解答解説>

1 正答 1

2 正答 1

1 自閉症スペクトラム症患者の約 70～80%は知的能力障害をもつが、患者の中には、特定の分野で優れた能力を発揮する人もいる(サヴァン症候群)。

3 正答 3

4 正答 2

5 正答 2

6 正答 3

7 正答 2

2 加齢変化が早くからみられ、また進行も早く、高齢者におけるフレイル(虚弱化)やサルコペニア(筋量・筋力減少)といった現象がみられる

8 正答 1

9 正答 3

10 正答 1

1 長期にわたりステロイドを服用している場合には、歯髄腔の狭窄がみられる。

11 正答 3

12 正答 1

13 正答 2

2 脳梗塞のある人は、抗血栓薬(抗凝固薬、抗血小板薬)を服用しているので、抜歯やスケーリングのときに止血しにくいことがある。主治医に問い合わせ、PT-INRの確認を行い3未満であれば、服薬を中止する必要はない。

14 正答 2

2 唾液の粘稠化と口腔機能の低下によって唾液嚥下が困難となるため、流涎が認められる。

15 正答 4

16 正答 4

4 うつ病患者は適応能力が低下することがあるため、本格的な歯科治療と歯科衛生介入は、病状の改善後に行うようにする。

17 正答 3

3 歯肉増殖の原因となっている薬剤の中止や減量、あるいは他剤に変更が可能かどうかを主治医に照会し予防する。

<6章 薬剤と歯科 基礎知識確認テスト解答解説>

- 1 正答 1
- 2 正答 3
- 3 正答 2
- 4 正答 4